

[2237] 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
児童文化論			講義	吉田裕美子	3年	後期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30		2	☆	☆					
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》
	—	—	○	○	—	—	—	—	○	—	
<b>当該科目のキーワード</b>	≪知識・理解≫		各年齢段階の遊びの理解								提出物は評価後に返却する。  アクティブラーニングの有無(内容) 有
	≪汎用的技能≫		言語表現力								
	≪態度・志向性≫		グループワーク								
<b>授業概要</b>	児童文化について基礎的な学習をし、保育者としての視野を広め、保育技能を高める。絵本、遊び歌、シアター製作など保育で活かせる遊びを通して保育に活用できる言葉・技術等を学ぶ。受講人数に合わせて授業方法・形態を吟味しながら進め、体験的な学びの場を目指す。									グループディスカッション、グループワーク	
<b>授業の到達目標</b>	子どもの発達と絵本、紙芝居、パネルシアター、言葉遊び等に関する知識と技術を理解する。まずは、各自の幼少期体験を思い出すことから始め、現代社会の中で生きる子どもたちの現状に目を向けつつ、子どもが児童文化に親しみ保育環境を理解する。児童文化教材の特性を理解し、実際に教材作りを行い、子どもの遊びやイメージを豊かにし、感性を養う環境構成や、保育の展開方法を理解する。										
<b>単位認定の要件</b>	到達目標①～③の合計が60点以上であること。										
<b>授業計画</b> (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	保育と児童文化とは何か 予習:(90分) 「子ども文化」と「児童文化」 復習:(90分) 子ども観の変遷									
	2	子どもの文化財の歴史的背景 予習:(90分) 子どもの文化財の成り立ちを学ぶ 復習:(90分) 子どもの文化財の歴史を知ることの意義									
	3	子どもの発達とことば遊びの特性と理解 予習:(90分) 子どもの発達と絵本の特性・理解 復習:(90分) 子どもの発達に応じた絵本とは									
	4	子どもが「絵本」と出会う時―「絵本」というメディア 予習:(90分) 絵本と子どもの発達 復習:(90分) 絵本の種類、選び方とは									
	5	絵本と子ども 予習:(90分) 絵本を用いた実践 復習:(90分) 実演、振り返り									
	6	子どもと遊び ①「子どもの文化財の役割と活用法」 予習:(90分) 絵本と子どもの発達 復習:(90分) わらべうたや手遊びに触れる									
	7	子どもと遊び ②「昭和時代の子どもの様子を通して考える」 予習:(90分) 時代背景について調べる 復習:(90分) グループワークを通して学ぶ									
	8	子どもと遊び ③「おやつ文化・お菓子の変遷」「おまけの文化」 予習:(90分) 時代背景について調べる 復習:(90分) グループワークを通して学ぶ									
	9	児童文化財①「絵本・幼年童話・児童文学」 予習:(90分) 絵本を読む環境づくりについて 復習:(90分) 年齢に合わせた教材選びと実践									
	10	児童文化財②「紙芝居・人形劇・影絵・ペープサート・エプロンシアター」 予習:(90分) 教材を使って保育方法・技術を学ぶ 復習:(90分) 年齢の発達に合わせた教材選びと実践									
	11	児童文化財③「昔話・素話・わらべうた・伝承遊び」 予習:(90分) 教材を使って保育方法・技術を学ぶ 復習:(90分) 年齢に合わせた教材選びと実践									
	12	シアター製作①(教材作り) 予習:(90分) 子どもの文化財を手作りする 復習:(90分) お話の場面割り									
	13	シアター製作②(教材作り) 予習:(90分) 子どもの文化財を手作りする 復習:(90分) お話の場面割りと読み方の工夫としくり									
	14	様々なシアターを使っての保育の展開を学ぶ 予習:(90分) 子どもの文化財を手作りする 復習:(90分) お話の場面割りと読み方の工夫としくり									
	15	保育教材の研究発表とまとめ(手作り教材の実演) 予習:(90分) リハーサル(班ごとに作成した作品の確認) 復習:(90分) 保育現場で実践、振り返り、講評									
<b>教科書・教材</b>	特になし										
<b>参考書・参考文献等</b>	特になし										
<b>履修上の注意等</b>	動きやすい服装を心がけること。表現活動には積極的・実践的に取り組むこと。										
<b>実務経験との関連</b>	実務経験の有無	無									

[2241] 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
児童心理学研究法			演習	小林琢哉	3年	後期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士							
2	15	30		2	☆										
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、その課題を解決する能力》	期末試験					
	○	—	○	○	○	○	○	○		○	○	○	—	期末レポート	
<b>当該科目のキーワード</b>	≪知識・理解≫ 心理学における実験・調査法の理解		≪汎用的技能≫ 適性なデータ収集と分析の方法			≪態度・志向性≫ 仮説検証による問題解決の志向				授業内小テスト			授業内提出物		
	≪知識・理解≫ 心理学における実験・調査法の理解		≪汎用的技能≫ 適性なデータ収集と分析の方法			≪態度・志向性≫ 仮説検証による問題解決の志向				授業内活動	20	有	授業内提出物		
<b>授業概要</b>	目標: 各種性格検査、心理実験、尺度の実施とデータ分析を通じて、心理学的手法による人間理解の実際について学ぶとともに、心理・教育統計の基礎とその使用方法を習得する。									その他	80	有	アクティブラーニングの有無(内容)	有	
	目標: 各種性格検査、心理実験、尺度の実施とデータ分析を通じて、心理学的手法による人間理解の実際について学ぶとともに、心理・教育統計の基礎とその使用方法を習得する。									計	100				
<b>授業の到達目標</b>	①性格検査、心理実験、尺度の実施方法の理解 ②心理実験・調査における基本的な考え方や実施方法の理解 ③心理・教育統計におけるデータ分析の基本的な方法論を習得する。									フィードバックの方法					
	①性格検査、心理実験、尺度の実施方法の理解 ②心理実験・調査における基本的な考え方や実施方法の理解 ③心理・教育統計におけるデータ分析の基本的な方法論を習得する。									フィードバックの方法					
<b>単位認定の要件</b>	到達目標①～③の合計が60点以上であること。														
<b>授業計画</b> (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容													
	1	心理実験の方法と記述統計 予習:(90分)心理学におけるデータの収集・分析方法について復習しておく。 復習:(90分) 授業内の実験で得られたデータについて記述統計量を算出しグラフ化する。													
	2	性格検査①エゴグラム 予習:(90分)エゴグラムの理論的背景について調べる。 復習:(90分) エゴグラムの測定結果と性格についての自己理解とを比較考察する。													
	3	性格検査②YG性格検査 予習:(90分)YG性格検査の成り立ちを調べる。 復習:(90分) YG性格検査の結果と性格についての自己理解とを比較考察する。													
	4	性格検査③NEO-PIR 予習:(90分)BigV理論について調べる。 復習:(90分) NEOの測定結果とその他の性格検査との違いについて比較検討する。													
	5	性格検査④クレペリン検査 予習:(90分)作業検査法について調べ、方法論上の特徴を把握する。 復習:(90分) 実施結果と作業曲線の結果を要約し、自分の特徴を記述する。													
	6	心理実験①鏡映描写 予習:(90分)学習の両側性転移について調べる。 復習:(90分) 実験結果から、学習の両側性転移が認められたかどうかを考察する。													
	7	心理実験②ミュラー・リヤー錯視 予習:(90分)ミュラー・リヤー錯視の大きさに影響すると思われる要因について検討する。 復習:(90分) 実験の結果をもとに、錯視に影響する要因について考察する。													
	8	心理実験③ストループ効果 予習:(90分)注意の過程における「抑制」について調べる。 復習:(90分) ストループ課題の実施結果を分析し、その意味について考察する。													
	9	実験レポートのまとめ方 予習:(90分)ストループ効果の実験についての分析を行っておく。 復習:(90分) 実験で得られたデータの分析結果からどのようなことが考えられるかをレポートにまとめる。													
	10	心理実験④先延ばし傾向 予習:(90分)日常生活において、取り組むべき課題を先延ばしにした経験の有無と、その時の心理について考える。 復習:(90分) 先延ばし傾向の強さについて質問紙調査の結果をもとに考察する。													
	11	心理実験④ドット・プロブ課題 予習:(90分)注意の偏りとは何か、その測定方法について学ぶ。 復習:(90分) 実験結果から、注意の偏りがどの程度見られたかを考察しまとめる。													
	12	心理実験⑤心的回転 予習:(90分)文字を反転・回転させた図形について、どの程度正確に文字と反転画像の区別をつけられそうか考えてみる。 復習:(90分) 実験結果をもとに、イメージを回転変換する機能の働きについて考察する。													
	13	心理実験⑥系列位置効果 予習:(90分)記憶の仕組みについて調べる。 復習:(90分) 実験の結果をもとに、記録リストの系列位置が記録しやすさに与える影響について考察する。													
	14	心理実験⑦オペレーションズ・バンテスト 予習:(90分)ワーキングメモリについて調べる。 復習:(90分) 実験結果から、自己のワーキングメモリの容量と働きについてどのようなことが言えるかを考察する。													
	15	心理実験⑧潜在的態度 (Implicit Association Test) 予習:(90分)社会心理学における態度について調べる。 復習:(90分) IATの実験結果を参考に、潜在的な態度や偏見について考察する。													
<b>教科書・教材</b>	特になし														
<b>参考書・参考文献等</b>	兵藤宗吉・須藤智(編)認知心理学基礎実験入門 八千代出版														
<b>履修上の注意等</b>	実験実施に支障をきたすので遅刻をしないように心がけること。														
<b>実務経験との関連</b>	実務経験の有無	無													

【2305】 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
算数			演習	齋藤昭	3年	前期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
1	15	30		1		○						
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、その課題を解決する能力》			
	○	—	—	○	○	—	○	○	—	—	—	○
<b>当該科目のキーワード</b>	≪知識・理解≫		小学校算数科の指導内容の理解、算数授業の指導法を理解する							授業内提出物や期末レポートにはしっかりと目を通し、疑問があれば答えていく。		
	≪汎用的技能≫		教材研究の仕方、算数授業の展開の仕方を身に付ける									
	≪態度・志向性≫		算数科の授業研究を通して小学校での授業作りへの意欲的な態度を身に付ける									
<b>授業概要</b>	小学校算数科の目標、内容を理解し、児童に対してどのような教材でどのような授業展開で理解させていくかという授業構成力を確実に身に付けることを目的とする。算数科の内容理解の際には、単に内容理解だけではなく、具体的な授業実践例をもとに、授業展開の仕方についても考える。授業づくりの方法を考える際には、問題提示の仕方、発問、板書の仕方、ノート指導といった、授業づくりに直接的に役立つ内容も盛り込む。									グループディスカッション、グループワーク		
<b>授業の到達目標</b>	具体的には、次の事項について学習する。 ① 小学校学習指導要領から、小学校算数科の指導内容を理解する。 ② 各領域の指導内容を理解し、具体的な指導方法について考える。 ③ 算数科の教材研究の方法を理解する。 ④ 算数科の授業づくりについて考える。											
<b>単位認定の要件</b>	到達目標①～④の合計が60点以上であること。											
<b>授業計画</b> (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容										
	1	なぜ算数を学ぶのか 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	2	算数の授業づくり1(問題解決型学習とは) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	3	学習指導要領を読み解く 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	4	「数と計算(下学年)」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	5	「数と計算(上学年)」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	6	「図形」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	7	「測定・変化と関係」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	8	「データの活用」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	9	算数の授業づくり2(発問・板書・ノート指導) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	10	算数の授業づくり3(教材研究のしかた・教科書を用いた授業) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	11	算数の授業づくり4(問題提示場面の工夫) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	12	算数の授業づくり5(問題づくりとオープンエンドアプローチの授業) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	13	算数の授業づくり6(子どもの言葉で授業をつくる) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	14	算数の授業づくり7(インズオンマス) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	15	これからの算数学習 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
<b>教科書・教材</b>	「小学校学習指導要領解説(算数編)」											
<b>参考書・参考文献等</b>	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校 算数) 国立教育政策研究所教育課程研究センター											
<b>履修上の注意等</b>	自分が小学校教員になったらどのような算数の授業を展開するかという意識をもって、講義に参加してください。疑問に思ったことや意見、感想なども積極的に発表してください。											
<b>実務経験との関連</b>	実務経験の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導す									

【2307】 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
理科			演習	友田志郎	3年	前期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士								
1					1		○				期末試験	70	有				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適した課題を解決する能力》	期末レポート					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ		倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	授業内提出物		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		科学知識の基礎的理解								授業内活動	30	無				
	《汎用的技能》										その他						
	《態度・志向性》										計	100					
授業概要	小学校理科教育の為に必要となる基礎的な知識を整理・確認する。																
授業の到達目標	①生物の基本的な分類。それぞれの生物の形態及び行動上の特徴、からだの仕組みを理解する ②物質の相、状態の変化、性質の変化について理解する ③光・音、及び電気と磁気の性質について理解する ④様々な気象現象、及び季節と天文の関わりについて理解する ⑤さまざまな地形の成り立ちや、地殻変動について理解する																
単位認定の要件	到達目標①～⑤の合計が60点以上であること																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	生物の分類。五界説。脊椎動物の分類と形態。節足動物。 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
	2	植物の分類。植物の生長 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
	3	人体の構造 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
	4	動物の行動。動物の繁殖 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
	5	物質。温度と体積。気体。液体。固体。 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
	6	燃焼。物質の化学変化。 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
	7	物質の構造 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
	8	力と運動。てこの原理。バネの働き。振り子の原理。 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
	9	光と音。反射・屈折・回折 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
	10	電気回路。電圧・電流・抵抗。直列と並列 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
	11	水溶液。電解質とイオン。電気分解。電池 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
	12	電流と磁力 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
	13	地球の大気と気候。気象現象。 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
	14	地球・太陽・月と暦。太陽系。宇宙と天体 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
	15	地球の構造。火山と岩石。地形と水の働き。 予習:(分) 復習:(45分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
教科書・教材	特になし																
参考書・参考文献等	特になし																
履修上の注意等	基礎的な内容なので、ノートをまとめ、しっかりと復習すること																
実務経験との関連	実務経験の有無	無															

[2317] 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
小学英語			演習	杉本久美子	3年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1	○				期末試験 70 有	
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 30 有 その他	
	○	○	—	○	—	—	—	—	—	○
<b>当該科目のキーワード</b>	≪知識・理解≫ 小学校での英語教育に必要な知識・英語力を身につける。		≪汎用的技能≫ 英語を通してコミュニケーションを図れるようになる。			≪態度・志向性≫ 英語を積極的に使う姿勢を身につける。			期末試験は採点后返却し、解答の説明を行う。授業内活動と提出物についてはその都度内容確認と所見を伝える。	
									アクティブラーニングの有無(内容) 有	
	<b>授業概要</b> この授業では小学校で行われている英語教育について理解し、自らが指導者として実践できるようになることを目指す。学習指導要領の目標や内容を踏まえ、子どもたちに適した授業を展開する上で必要な基礎的言語知識と指導方法を学ぶ。またクラスルーム・イングリッシュを用いて授業ができるよう英語力の向上を図る。								授業内でのアクティビティ等	
<b>授業の到達目標</b>			目標：小学校で行われる英語教育を実践するうえで必要とされる基礎知識と英語力を習得する。 テーマ：小学校英語教育の内容を知り、指導者として授業を実践することができるだけの英語力を身につける。							
<b>単位認定の要件</b>	授業内活動(30%)、期末試験(70%)の合計が60点以上であること。									
<b>授業計画</b> (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	授業概要(使用テキスト、授業展開方法、成績評価)説明、(幼児のための英語)Unit 1 Hello! ① ※①は語彙、発音、定型表現 ②は英文読解。 予習:(30分) 使用テキストの内容確認。 ※2回目からは授業内にて指示。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。 ※各回同様。								
	2	発達段階にあわせた英語の活動 Unit 1 Hello ② 予習:(30分) 復習:(30分)								
	3	多感覚を用いた学び Unit 2 Number and Colors ① 予習:(30分) 復習:(30分)								
	4	多感覚を用いた学び Unit 2 Number and Color ② 予習:(30分) 復習:(30分)								
	5	幼児の発達段階にあった英語遊び:身体を使った活動の意義 Unit 3 Let's play! Let's move! ① 予習:(30分) 復習:(30分)								
	6	幼児の発達段階にあった英語遊び:身体を使った活動の意義 Unit 3 Let's play! Let's move! ② 予習:(30分) 復習:(30分)								
	7	クイズを用いた学習:語彙や質問表現を学ぶ Unit 4 Quiz show ① 予習:(30分) 復習:(30分)								
	8	クイズを用いた学習:語彙や質問表現を学ぶ Unit 4 Quiz show ② 予習:(30分) 復習:(30分)								
	9	英語で質問したり答えたりする活動、他教科との関連づけ Unit 5 I like fruit. ① 予習:(30分) 復習:(30分)								
	10	英語で質問したり答えたりする活動、他教科との関連づけ Unit 5 I like fruit. ② 予習:(30分) 復習:(30分)								
	11	絵本の読み聞かせ Unit 6 Reading a picture book ① 予習:(30分) 復習:(30分)								
	12	絵本の読み聞かせ Unit 6 Reading a picture book ② 予習:(30分) 復習:(30分)								
	13	学習環境と学習ツール Unit 7 Do you have a pencil? ① 予習:(30分) 復習:(30分)								
	14	学習環境と学習ツール Unit 7 Do you have a pencil? ② 予習:(30分) 復習:(30分)								
	15	授業内容総括(まとめ・振り返り) 予習:(30分) 復習:(30分) 前期学習内容の復習と定着を図る。								
<b>教科書・教材</b>	『楽しく教える子ども英語 Basic English for Teachers of Young Learners』 泉恵美子 多田玲子 田邊義隆 編著 朝日出版社 ¥2000+税									
<b>参考書・参考文献等</b>	特になし。									
<b>履修上の注意等</b>	15回の授業を通して小英語に必要なとされる英語力の獲得も図ります。授業内活動には積極的な態度で取り組むこと。									
<b>実務経験との関連</b>	実務経験の有無	無								

【2401】 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
国語科教育法			演習	船水周	3年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30		2	○				期末試験							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》				期末レポート	40	無				
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーショ ンスキル	数量的スキ ル	情報リテラシ ー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシ ップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト	20
	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	授業内提出物	20	有
														授業内活動	20	有
														その他		
														計	100	
														フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		新学習指導要領・言語の教育・国語学力									①時間内に教師が答えを発表し、学生に自己採点させる。 ②提出物等の結果は、ICTの活用や口頭により、全体に解説する。				
	《汎用的技能》		発表・質問・話し合い									アクティブラーニングの有無 (内容)		有		
	《態度・志向性》		協働性・探究性													
授業概要	国語科教育の目標・内容(教材)・方法(技術)等を体系的に学び、小学校国語科の授業者に求められる資質・能力を形成するため、授業では、講義のほか、学生の主体的学習(演習)や話し合い活動(協議)、ICTの活用等も積極的に取り入れる。											演習、個別・ペア・グループワーク 学習等				
授業の 到達目標	①国語科の構造(国語教育と国語科教育)及び国語科の学習内容について、理論的に理解する。 ②新学習指導要領の趣旨を踏まえ、小学校国語科で育成する資質・能力について探究する。 ③国語科授業における効果的な指導法やICTを活用した指導技術の基礎を修得する。															
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容 ・時間含む)	回	内 容														
	1	【新学習指導要領①】「改訂の経緯・要点」全体構成、国語科で目指す資質・能力、国語科の目標・内容(国語教育と国語科教育、国語学力等) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく														
	2	【新学習指導要領②】知識及び技能(1)言葉の特徴や使い方(話し言葉と書き言葉、漢字と語彙、文と文章)(言葉による見方・考え方等) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく														
	3	【新学習指導要領③】知識及び技能(2)情報の扱い方(情報の扱い方、情報と情報の関係、情報の整理)(学習指導計画と評価) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく														
	4	【新学習指導要領④】知識及び技能(3)我が国の言語文化(伝統的な言語文化、言葉の由来、書写、読書)(指導計画の内容の取扱い①) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく														
	5	【新学習指導要領⑤】思考力、判断力、表現力「A 話すこと・聞くこと」の学習過程と指導事項、言語活動例(指導計画の内容の取扱い②) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく														
	6	【新学習指導要領⑥】思考力、判断力、表現力「B 読むこと・書くこと」の学習過程と指導事項、言語活動例(学習指導計画①) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく														
	7	【新学習指導要領⑦】思考力、判断力、表現力「C 読むこと」の学習過程と指導事項、言語活動例(学習指導計画②) 授業内小テスト① 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく														
	8	【新学習指導要領⑧】「語彙指導の改善・充実」学習指導要領と言語活動の充実(教材開発課題①)、授業内小テスト② 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく														
	9	【新学習指導要領⑨】「非連続テキスト(文章と図表)を読む指導の改善・充実」(教材開発課題②) 授業内小テスト③ 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく														
	10	【新学習指導要領⑩】「我が国の言語文化に関する指導の改善・充実」(言葉の由来や変化、書写に関する事項(教材開発課題③)) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく														
	11	【新学習指導要領⑪】「学年別漢字配当表」(都道府県名の漢字の追加「漢字指導の改善・充実」(学習指導案作成①)) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく														
	12	【新学習指導要領⑫】「読書に関する事項」(学校図書館の利活用、読書活動の推進(学習指導案作成②)) 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく														
	13	【国語科授業改善①】国語科における「主体的・対話的で深い学び」(ICTの活用)(国語科教育の歴史①) 国語科基本用語小テスト① 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく														
	14	【国語科授業改善②】国語科における「授業(学習)評価の改善・充実」(ICTの活用)(国語科教育の歴史②) 国語科基本用語小テスト② 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく														
15	【国語科授業改善③】言葉による「見方・考え方」の整理 (ICTの活用)(学校における国語教育・国語科教育) 国語科基本用語小テスト③ 予習:(30分)授業内容について、教科書の該当箇所、学習指導要領等から確認し、丁寧に読んでおくこと 復習:(60分)授業内容のポイントを箇条書きで整理するとともに、自分の考えをまとめておく															
教科書・教材	文部科学省(平成29年告示)『小学校学習指導要領解説 国語編』(東洋館出版2018) 田近洵一・大熊徹他編『小学校国語科授業研究第五版』(教育出版2018) レジューメ															
参考書・ 参考文献等	吉田裕久・水戸部修治編著『小学校学習指導要領ポイント総整理』(東洋館出版)															
履修上の 注意等	授業内容の理解と定着のため、読んだり、書いたり、考えたりする活動を重視する。教科書の該当部分等、予習して授業に臨む。															
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	公立小学校教諭・教頭・校長、教育センター研究員、小・中・高での授業、内地留学、教育雑誌・書籍・新聞コラムの執筆等の実務経験をもとに、国語教育及び国語科教育の理論や知識、技能を理解させ、具体的、実践的に学んでもらう。													

[2402] 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
社会科教育法			演習	大瀬勝彦	3年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
2	15	30		2	○				期末試験	
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》
	○	○	○	—	—	—	○	○	—	○
<b>当該科目のキーワード</b>	≪知識・理解≫		社会科教育のねらいの理解							学習指導案で示された指導構想に対しての感想や授業実践に向けての助言を実施する。  <b>アクティブラーニングの有無(内容)</b> 有
	≪汎用的技能≫		学習指導案作成・模擬授業実践							
	≪態度・志向性≫		地域教材の取り組み							
<b>授業概要</b>	○社会科の学習指導要領の趣旨を理解するとともに、社会科の学習指導の基礎的基本的な知識・技能の習得を図る。 ○教材研究、学習指導案作成、模擬授業実践を通して、発問の仕方、資料提示の仕方・活用等実践につながる方法を習得し、授業実践に取り組みの土台を育成する。									
<b>授業の到達目標</b>	社会科教育の理解と社会科授業実践に向けて ①学習指導要領(社会科)の理解 ②問題解決的学習の理解 ③地域教材を取り入れた教材研究 ④学習指導案作成と模擬授業実践									
<b>単位認定の要件</b>	学習指導案の作成、模擬授業の内容が60%以上評価できる内容であること。									
<b>授業計画</b> (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	オリエンテーション 予習:解説の「第1章 総説 1改訂の経緯及び基本方針」を熟読する(30分) 復習:解説の「第1章 総説 2社会科改訂の趣旨及び要点」を熟読する(60分)								
	2	社会科の目標及び内容 予習:解説の「第2章 第1節社会科の目標」を熟読する(45分) 復習:解説の「第2章 第2節社会科の内容構成」を熟読する(45分)								
	3	第3学年の目標及び内容 予習:解説の「第3章 第1節 第3学年の目標」を熟読する(30分) 復習:解説の「第3章 第1節 第3学年の内容」を熟読する(60分)								
	4	第4学年の目標及び内容 予習:解説の「第3章 第2節 第4学年の目標」を熟読する(30分) 復習:解説の「第3章 第2節 第4学年の内容」を熟読する(60分)								
	5	第5・6学年の目標及び内容 予習:解説の「第3章 第3節 第5学年の目標及び内容」を熟読する(45分) 復習:解説の「第3章 第4節 第6学年の内容及び内容」を熟読する(45分)								
	6	教材研究の視点 予習:模擬授業実施単元の候補を2~3に絞る(30分) 復習:決定した単元の指導計画の素案を検討する(60分)								
	7	地域教材の教材化 予習:地域教材の素材を探す(30分) 復習:どの単元で取り上げるのか検討する(60分)								
	8	社会科における評価について 予習:正答が複数ある評価問題の作成(30分) 復習:評価計画の作成(60分)								
	9	学習指導案の作成(指導案作成の基本) 予習:実施単元の決定(30分) 復習:本時のねらいの検討(60分)								
	10	学習指導案の作成(指導案作成のキーポイントの決定) 予習:学習課題の素案検討(30分) 復習:学習課題の決定と展開の検討(60分)								
	11	学習指導案の作成(指導案作成実施) 予習:前段部分の素案作成(30分) 復習:展開部分の素案作成(60分)								
	12	学習指導案の作成(指導案完成・相互評価) 予習:板書計画の素案作成(30分) 復習:評価計画の作成(60分)								
	13	模擬授業の実施(模擬授業・授業研究会~3学年授業) 予習:作成した学習指導案の熟読(30分) 復習:作成した学習指導案の修正(60分)								
	14	模擬授業の実施(模擬授業・授業研究会~4学年授業) 予習:作成した学習指導案の熟読(30分) 復習:作成した学習指導案の修正(60分)								
	15	模擬授業の実施(模擬授業・授業研究会~5・6学年授業) 予習:作成した学習指導案の熟読(30分) 復習:作成した学習指導案の修正(60分)								
<b>教科書・教材</b>	「新しい社会科 3年」(東京書籍)、「新しい社会科 4年」(東京書籍)「小学校学習指導要領解説 社会科編」(文部科学省)									
<b>参考書・参考文献等</b>	小学生の地図帳(帝国書院)「新しい社会科 5年」(上、下)(東京書籍)「新しい社会科 6年」(歴史編、政治・国際編)(東京書籍)									
<b>履修上の注意等</b>	教育実習・教育現場で、社会科の授業実践に対応できるよう、意見発表等で積極的な取り組みをお願いします。									
<b>実務経験との関連</b>	実務経験の有無	有	青森県総合学校教育センター義務教育課指導主事として、初任者研修・経験者研修、選択研修で社会科を担当。中学校で社会科を担当。							

【2403】 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科		
算数科教育法			演習	齋藤昭	3年	後期	こども発達学科		
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士		
2	15	30		2	○				
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末試験 期末レポート 30 有 授業内小テスト 授業内提出物 20 有 授業内活動 50 有 その他 計 100 フィードバックの方法
	○	—	○	○	—	○	○	—	
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		小学校学習指導要領の内容理解及び系統性 思考力・判断力・表現力 学びに向かう態度、意欲						模擬授業については研究協議の中で指導していく。期末レポート、授業内提出物については、コメントを記入し返却する。質問については、講義の中で解説していく。 アクティブラーニングの有無(内容) 有
授業概要	小学校算数科の目標について理解し、算数の領域の内容及び具体的な教材について、子どもに学習させるねらいと教材の本質はどのようなことであるのかについて学習する。 実際の授業を行う子どもがどのような考え方を示すのかを考察し、それに対応するための考え方について理解を深める。 指導案の書き方を学び、作成した指導案をもとに模擬授業を行い、研究協議を行う。						グループディスカッション、グループワーク		
授業の到達目標	①小学校学習指導要領(算数編)の見方・考え方を理解し、算数・数学の各領域における内容及び系統性を把握できる。 ②日常の事象から見いだした事柄を、数学的な手法を用いて算数・数学の舞台に乗せる方法について理解できる。 ③算数・数学の特性について理解し、授業づくりに生かすことができる。 ④指導案の様式や各項目の内容について理解し、指導案を作成することができる。								
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。								
<b>授業計画</b> (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容							
	1	ガイダンス(講義の内容、グループ構成、模擬授業の担当決めなど) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。							
	2	算数の授業づくり 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。							
	3	学習指導案の作成 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。							
	4	教員による模擬授業及び研究協議 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)研究協議会の内容を振り返る。							
	5	学生による模擬授業及び研究協議1(1班・2班)「たしざん・ひきざん(1年)」 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)研究協議会の内容を振り返る。							
	6	学生による模擬授業及び研究協議2(3班・4班)「2けたの数のたし算・かけ算(2年)」 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。							
	7	学生による模擬授業及び研究協議3(5班・6班)「わり算・分数(3年)」 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。							
	8	学生による模擬授業及び研究協議4(7班・8班)「小数・円(3年)」 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。							
	9	学生による模擬授業及び研究協議5(9班・10班)「面積・四角形(4年)」 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。							
	10	学生による模擬授業及び研究協議6(11班・12班)「異分母分数のたし算・三角形の面積(5年)」 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。							
	11	学生による模擬授業及び研究協議7(13班・14班)「単位量あたり・割合(5年)」 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。							
	12	学生による模擬授業及び研究協議8(15班・16班)「場合の数・比(6年)」 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。							
	13	これからの算数学習1(ICT機器の利用) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。							
	14	これからの算数学習2(個別最適な学び・協働的な学び) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。							
	15	これからの算数学習3(学び続ける教師) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。							
教科書・教材	小学校学習指導要領解説(算数編)								
参考書・参考文献等	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校 算数) 国立教育政策研究所教育課程研究センター								
履修上の注意等	小学校教員になったら、どのような授業を展開していくかを常に考えて講義に臨んでください。また、講義の前に、Googleクラスルームに講義資料を掲載するので、事前に目を通し講義に参加するようにしてください。								
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、指導案の作成、模擬授業を通して体系的な授業場面をもとに指導する。						

[2404] 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
理科教育法			演習	竹内史宗	3年	後期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無								
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士									
2	15	30		2	○				期末試験								
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート	30	無						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			
	○	—	○	—	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○	授業内提出物	40	無
															授業内活動	30	無
															その他		
															計	100	
															フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		目標と指導内容の理解						各レポートや提出物の評価規準を示し、授業で解説する。								
	《汎用的技能》		児童理解と指導法・教材活用と課題解決力														
	《態度・志向性》		課題意識						アクティブラーニングの有無 (内容)		有						
授業概要	理科教育法を初めて学ぶ学生を対象としている。そこで、理科を学ぶ意義と学習指導要領解説書に記載されている内容について理解する。特に領域別の見方や各学年で示されている考え方を整理し、教科横断的な視点に立った資質・能力の育成について探求する。また指導案作成演習を行う際、児童の「課題発見・探究活動」を視点に指導ポイントを明らかにし、児童の思考力を高める模擬授業を実施することで、指導法の基礎・基本を身に付ける。									グループディスカッション、グループワーク							
授業の 到達目標	①各領域等の見方・考え方を働かせることの意義について理解することができる。 ②児童に付けたい資質・能力について理解することができる。 ③課題発見・探求を視点とした指導案を作成することができる。 ④模擬授業を通し、児童の思考に沿った指導ができる。																
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	第1章 理科教育の必要性(目標、資質・能力、課題) 予習:(60分)教科目標の「見方・考え方」「見直しをもって」「問題を科学的に解決する」という部分の意味を考察すること。 復習:(60分)理科では児童にとってどのような学習方法が大切か、その学習が児童にとって将来何に役立つのか考察すること。															
	2	第2章 これからの理科授業(主体的・対話的で深い学び、習得と活用) 予習:(60分)「主体的・対話的で深い学び」について中央教育審議会ではどのように定義しているかまとめること。 復習:(60分)「主体的・対話的で深い学び」が成立する要点を整理し、具体的に教師にとって授業の何がかわるのか考察すること。															
	3	第3章 A分野(粒子・エネルギー)の内容と見方 予習:(60分)粒子の見方である「質的・実体的な視点」、エネルギーの見方である「量的・関係的な視点」について説明できるようにすること。 復習:(60分)「粒子・エネルギー」分野の見方を基に、関係する単元の指導計画と系統性について考察すること。															
	4	B分野(生命・地球)の内容と見方 予習:(60分)生命の見方である「共通性・多様な視点」、地球の見方である「時間的・空間的な視点」について説明できるようにすること。 復習:(60分)「生命・地球」分野の見方を基に、関係する単元の指導計画と系統性について考察すること。															
	5	第4章 3.4学年の内容と考え方 予習:(60分)比較・関係付けという考え方について、説明できるようにすること。 復習:(60分)3.4学年の授業の中で「差異点・共通」「既習の内容や生活経験」という視点を生かす活動場面を考察すること。															
	6	5.6学年の内容と考え方 予習:(60分)条件制御、多面的に調べるという考え方について、説明できるようにすること。 復習:(60分)5.6学年の学習の中で「予想や仮説」「より妥当な考え方」という視点を生かす活動場面を考察すること。															
	7	第5章 課題解決の過程を通じた学習活動(思考ツール、ものづくり) 予習:(90分)理科学習(授業)の必要性を実感するには、どのような授業をすればよいか考察すること。 復習:(90分)子どもたちが作れる実験・観察教材の一つを考えて、提案書を作成すること。															
	8	第6章 コンピュータ等の情報機器の活用(思考・判断・表現力の育成) 予習:(60分)理科授業で活用可能な情報機器には、どんな機器があるか調べておくこと。 復習:(60分)TV、インターネットの効果的な活用について考察すること。															
	9	第7章 実験・観察の指導法と事故防止について 予習:(60分)実験・観察を行う意義と、授業における位置づけについて調べておくこと。 復習:(60分)事故を未然に防ぐための薬品濃度の管理、野外観察について、生徒指導の視点で整理すること。															
	10	第8章 評価方法について 予習:(60分)「知識・技能」「思考・判断・表現力」「主体的に取り組む態度」の3観点を基に理科の評価視点を整理すること。 復習:(60分)「思考・判断・表現力」の評価視点において、学年間の関係についてまとめること。															
	11	第9章 学習指導要領の構成項目について(項目内容の理解) 予習:(60分)一般にどの学校でもほぼ共通して指導案に記載している事項について、整理し説明できるようにしておくこと。 復習:(60分)指導案に記載している事項が、理科学習指導要領解説書のどの部分に主に述べられているか考察すること。															
	12	第10章 指導案の作成と検討(学年・単元設定も含む) 予習:(60分)各グループごとに学年設定、単元観、指導観、評価・指導計画について話し合い、指導案の前段階を作成すること。 復習:(60分)作成した前段階の指導案をもとに、理科の課題解決過程を視点に協働し、後段階である本時の授業を作成すること。															
	13	第11章 A分野模擬授業(実験観察の場面を含む) 予習:(60分)指導案に児童が「理科の見方・考え方」を働かせ、主体的に関わりながら問題発見・解決を促す場面を検討すること。 復習:(60分)模擬授業において、第8章で述べた評価視点をどのように見取ったかを検証し改善点を考察すること。															
	14	B分野模擬授業(観察観察の場面を含む) 予習:(60分)指導案に児童が「理科の見方・考え方」を働かせ、主体的に関わりながら問題発見・解決を促す場面を検討すること。 復習:(60分)模擬授業において、第8章で述べた評価視点をどのように見取ったかを検証し改善点を考察すること。															
15	第12章 教師の姿勢と理科授業 予習:(60分)模擬授業を通して①主体性②発問③板書・ノート指導④実験・観察⑤評価視点⑥安全指導を視点にレポートにまとめること。 復習:(60分)予習レポートの発表を聞きながら自分のレポートに加筆・訂正を加えること。																
教科書・教材	文部科学省『小学校学習指導要領解説 理科編』東洋館出版																
参考書・ 参考文献等	『小学校教員志望学生のための理科教育入門書』(東洋館出版)、『最新小学校理科教育法』(学文社)、『若い先生のための理科教育学概論』(東洋館出版 畑中忠雄著)、『初等理科教育』(ミネルヴァ書房)																
履修上の 注意等	レポート様式はA4横書きです。																
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	公立小学校校長・理科教育研究会会長の経験を活かし、問題解決の活動を視点とした指導法と、児童の学びの過程において「見方・考え方」を働かせた授業実践について考察する科目である。														

【2405】 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
生活科教育法			演習	齋藤昭	3年	前期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無		
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士			
2	15	30		2			○			期末試験		
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート 30 有 授業内小テスト 授業内提出物 20 有 授業内活動 50 有 その他
	○	—	—	○	—	—	—	—	○	—	計 100 フィードバックの方法	
<b>当該科目のキーワード</b>	≪知識・理解≫		学習指導案作成・模擬授業を通して生活科の授業の理解								模擬授業については研究協議の中で指導していく。期末レポート、授業内提出物については、コメントを記入し返却する。質問については、講義の中で解説していく。	
	≪汎用的技能≫		コミュニケーションスキル									
	≪態度・志向性≫		チームワーク・児童のよさを伸ばす教師の支援と評価									
<b>授業概要</b>	生活科の目標や内容の理解をもとに、9つの内容について指導案作成や模擬授業等を取り入れながら、指導法を考えていく。模擬授業を行った後は、グループごとに授業を振り返る研究協議を行う。低学年児童の一人一人のよさや可能性を引き出す指導と評価、支援のあり方はどうあればよいかについて考え、実践的な指導力を習得する講義としていく。									グループディスカッション、グループワーク		
<b>授業の到達目標</b>	①生活科の目標・内容を理解する。 ②生活科の教材分析から学習指導案作成までの一連の方法や手順を理解し、学習指導案を作成することができる。 ③模擬授業等において、児童一人一人のよさや可能性を引き出す指導ができる。											
<b>単位認定の要件</b>	到達目標①～③の合計が60点以上であること。											
<b>授業計画</b> (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容										
	1	ガイダンス(講義の内容、グループ構成、模擬授業の担当決めなど) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	2	生活科の授業づくり 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	3	教員による模擬授業及び研究協議 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	4	学習指導案の作成 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	5	学生による模擬授業及び研究協議1(わたしのあさがお) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)研究協議会の内容を振り返る。										
	6	学生による模擬授業及び研究協議2(がっこうだいすき1) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)研究協議会の内容を振り返る。										
	7	学生による模擬授業及び研究協議3(がっこうだいすき2) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。										
	8	学生による模擬授業及び研究協議4(がっこうたんけん) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。										
	9	学生による模擬授業及び研究協議5(あそびにこうよ) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。										
	10	学生による模擬授業及び研究協議6(なつをさがし) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。										
	11	学生による模擬授業及び研究協議7(まちたんけん) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。										
	12	学生による模擬授業及び研究協議8(つくてあそぼうこどもちや1) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。										
	13	学生による模擬授業及び研究協議9(つくてあそぼうこどもちや2) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。										
	14	学生による模擬授業及び研究協議10(わたしたんけん) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)協議会の内容を振り返る。										
	15	これらの生活科学習(今までの模擬授業と研究協議を振り返る) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。										
<b>教科書・教材</b>	小学校学習指導要領解説(生活編)											
<b>参考書・参考文献等</b>	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校 生活) 国立教育政策研究所教育課程研究センター											
<b>履修上の注意等</b>	自分だったらどう指導するかを常に考えながら講義に臨んでください。また、講義資料は事前にGoogleクラスルームに掲載するので、目を通して疑問点や自分の考えをまとめてから講義に臨んでください。											
<b>実務経験との関連</b>	実務経験の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、指導案の作成、模擬授業を通して、具体的な授業場面をもとに指導する。									

【2406】 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
音楽科教育法			演習	一戸智之	3年	後期	こども発達学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無										
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士											
2	15	30		2		○			期末試験										
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート	70	有								
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	10	有			
	○	—	○	—	—	○	○	—	○	○	—	○	—	○	—	○	授業内提出物	10	有
																	授業内活動	10	有
																	その他		
																	計	100	
																	フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		音楽理論、歌唱法、ピアノ伴奏法、リコーダーの奏法						弾き歌いの技能を問う実技試験は、全員による発表会形式で実施し、教員による講評と履修者全員で振り返りを行うとともに、個別的指導を通じて各々の課題を明確化し継続的な取り組みを促進する。										
	《汎用的技能》		指導方法・技術						アクティブラーニングの有無 (内容)			有							
	《態度・志向性》		グループ活動、協調的な学び																
授業概要	理論と実践に基づいた歌唱、ピアノ、鍵盤ハーモニカ、リコーダー、小打楽器、和楽器等の基礎的な表現法および指導法を体得するとともに、音楽科教育の実践研究の動向を分析した上で、大綱的な基準である学習指導要領に明示されている表現および鑑賞の活動を展開するための見方・考え方の基盤となる〔共通事項〕を踏まえた指導性の意義と指導内容、評価の観点、評価規準、評価の方法について学修する。模擬授業を通じて、実際の教育現場を想定した指導方法・技術の獲得を目指す。									グループワーク、グループディスカッション、グループ発表									
授業の 到達目標	①表現及び鑑賞の活動を展開していく上で必須とされる歌唱法とピアノ伴奏法を習得する。 ②リコーダー、鍵盤ハーモニカ、小打楽器、和楽器等の基礎的な奏法とそれらの指導法を理解する。 ③初等教育で必要とされる基礎的な音楽理論を理解する。 ④全学年(1～6年生)の歌唱共通教材および鑑賞教材の曲想と楽曲構造を理解する。 ⑤学習指導要領に基づく音楽科教育の意義、指導内容、評価の観点、評価規準、評価方法、指導方法・技術について実践的に理解する。																		
単位認定の要件	到達目標①～⑤の合計が60点以上であること。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																	
	1	本授業の目的、概要と計画 予習:(20分)テキストI「小学校音楽科の意義」(6ページ～)を通読し、音楽科教育の趣旨を理解する。 復習:(30分)15回の授業を受講するにあたって必要とされる音楽理論及び技能について各自確認し、学修目標・計画を立てる。																	
	2	小学校学習指導要領音楽科の目標、各学年の目標と指導内容 予習:(20分)学習指導要領の内容を構造的に理解する。 復習:(30分)小学校学習指導要領解説音楽編第2章以降を通読し、概略を理解する。																	
	3	子どもの音楽の理解と音楽的発達、歌唱共通教材研究①(低学年) 予習:(20分)歌唱共通教材低学年について歌唱実践とピアノ演奏を通じて歌詞や旋律、リズムの特徴を理解する。 復習:(40分)「曲想と音楽を形づくっている要素」を理解しながら弾き歌いの練習をする。																	
	4	鍵盤ハーモニカリコーダーの奏法と指導法～音楽づくりの発想を得る指導や見通しをもった活動、歌唱共通教材研究②(中学年) 予習:(20分)歌唱共通教材中学年について、歌唱実践とピアノ演奏を通じて歌詞や旋律、リズムの特徴を理解する。 復習:(40分)「曲想と音楽を形づくっている要素」を意識しながら弾き歌いの練習をする。																	
	5	リコーダー、鍵盤ハーモニカ、歌唱による音楽づくり 歌唱共通教材研究③(高学年) 予習:(20分)歌唱共通教材高学年について、歌唱実践とピアノ演奏を通じて歌詞や旋律、リズムの特徴を理解する。 復習:(40分)「曲想と音楽を形づくっている要素」を意識しながら弾き歌いの練習をする。																	
	6	歌唱共通教材の弾き歌い発表会、器楽合奏と音楽づくり～〔共通事項〕に示されている「音楽を形づくっている要素」の知覚と感受 予習:(60分)弾き歌い課題曲の音程やリズム等を確認し、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図を持つ。 復習:(30分)各グループで本時の発表について振り返りを行い、グループディスカッションを通じてより豊かな表現力の向上を目指す。																	
	7	ICTを活用した鑑賞領域の指導法～曲想及びその変化と音楽の構造との関わり 予習:(20分)小学校学習指導要領解説音楽編鑑賞領域に関する箇所を通読しておく。 復習:(30分)配布資料を再読し、自己課題を明確化する。																	
	8	器楽合奏中間発表会と振り返り 予習:(60分)各グループで課題曲についてディスカッションを行い、どのように演奏するかについて思いや意図をもち、発表会に生かしていく。 復習:(30分)各グループで中間発表について振り返りを行い、本発表に向けて改善すべき点を明確化する。																	
	9	学習指導計画の作成とその基本的な考え方 予習:(30分)テキストIII「学習指導計画の作成」(60ページ～)を通読しておく。 復習:(30分)各グループで学習指導計画の意義を理解し、模擬授業実践に向けて音楽科の題材構成と〔共通事項〕の内容を理解する。																	
	10	器楽合奏発表会と振り返り 予習:(60分)各グループでディスカッションを行い、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもち。 復習:(30分)各グループで本時の発表会の評価を行い、今後の器楽領域の指導実践に生かせるようにする。																	
	11	評価の観点及びその趣旨、評価規準の作成方法 予習:(30分)テキストIII「学習指導計画の作成」5 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善及び6 音楽科の評価」を通読しておく。 復習:(60分)各グループごとに学習指導案の内容を検討する。																	
	12	教材研究と学習指導案の作成 予習:(60分)各グループで学習指導案の本時の学習内容、学習活動、教師の働きかけ、評価規準等を検討する。 復習:(60分)次回以降の模擬授業実践のための準備・リハーサルを行う。																	
	13	模擬授業①(低学年)～実践と振り返り 予習:(60分)小学校学習指導要領解説音楽編の教科の目標、低学年の目標及び内容、指導計画の内容と取扱いについて確認しておく。 復習:(30分)各グループで本時の模擬授業の振り返りを行い、改善点を明確化し、今後の授業実践に生かせるようにする。																	
	14	模擬授業②(中学年)～実践と振り返り 予習:(60分)小学校学習指導要領解説音楽編の教科の目標、中学年の目標及び内容、指導計画の内容と取扱いについて確認しておく。 復習:(30分)各グループで本時の模擬授業の振り返りを行い、改善点を明確化し、今後の授業実践に生かせるようにする。																	
	15	模擬授業③(高学年)～実践と振り返り 予習:(60分)小学校学習指導要領解説音楽編における教科の目標、高学年の目標及び内容、指導計画の内容と取扱いについて確認しておく。 復習:(30分)各グループで本時の模擬授業の振り返りを行い、改善点を明確化し、今後の授業実践に生かせるようにする。																	
教科書・教材	「新版 教員養成課程 小学校音楽科教育法(教育芸術社)」「小学校学習指導要領解説 音楽編(文部科学省)」「小学生の音楽1～6(教育芸術社)」「最新 学生の音楽通論(音楽之友社)」「五線譜ノート(各自用意してください)」																		
参考書・ 参考文献等	小学校学習指導要領 音楽																		
履修上の 注意等	ピアノ実技については毎日の練習を心がけてください。																		
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無																	

【2407】 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
図画工作科教育法			演習	蛭名敦子	3年	後期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士		
2	15	30			2		○			期末試験	
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》
	○	—	○	○	○	○	○	○	—	—	
	期末試験 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 60 有 授業内活動 40 無 その他										
	計 100 フィードバックの方法										
<b>当該科目のキーワード</b>	≪知識・理解≫ 造形的見方・考え方、造形的特徴の理解		提出作品をみんなで鑑賞したり、ワークシート、学習指導案について検証し合い、指導を加える。								
	≪汎用的技能≫ 材料・用具の扱い方、創意工夫する能力										
	≪態度・志向性≫ つくりだす喜び、共同製作、協働的な造形活動		アクティブラーニングの有無(内容)		有						
<b>授業概要</b>	図画工作科の学習指導要領について、材料や用具、子どもの実態、題材論の観点から分析的に理解を進め、実践的に表現と鑑賞の指導内容を理解する。それらの基礎的知識や技術を基に、題材を考案したり教科書などから選択し、教材化して学習指導案を作成する。									グループワーク、実習	
<b>授業の到達目標</b>	学習指導要領を通して図画工作の学習内容について多角的な理解ができ、実際に表現や鑑賞の実践を通して、指導に必要な基礎的知識や技術を習得する。また、題材を考案し、教材化して、安全面、環境を考慮した学習指導案を作成することができるようになる。										
<b>単位認定の要件</b>	到達目標の合計が60点以上であること。										
<b>授業計画</b> (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	学習指導要領の改訂とこれからの図画工作科の在り方、目標 予習:(30分) 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	2	学習指導要領の分析的理解1(材料・用具の扱い) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	3	学習指導要領の分析的理解2(子供の発達過程) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	4	学習指導要領の分析的理解3(題材論) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	5	表現1 造形遊びについて(実践例の紹介と材料の準備) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	6	造形遊びの実践(造形活動と鑑賞) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	7	表現2 立体、工作に表す活動について(実践例の紹介と材料) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	8	立体製作の実践 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	9	立体作品の鑑賞と振り返り(ワークシート) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	10	表現3 絵(コラージュ)(モチーフの収集、発想・構想) 予習:(30分) 作品の題材について事前に考える。 復習:(30分) 製作の材料を準備する。									
	11	絵(コラージュ)(製作、創造的技能) 予習:(30分) 授業内容について事前に学習し準備をする。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	12	絵(コラージュ)の鑑賞 予習:(30分) 授業内容(鑑賞)について事前に学習し準備をする。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	13	学習指導案の形式的理解と学習指導案作成に向けて 予習:(30分) 授業内容について事前に学習し準備をする。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	14	学習指導案の作成 予習:(30分) 授業内容について事前に学習し準備をする。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
	15	学習指導案の検討、講義全体の総括 予習:(30分) 授業内容について事前に学習し準備をする。内容はその前の回に伝える。 復習:(30分) 授業内容について振り返りを行う。									
<b>教科書・教材</b>	『小学校学習指導要領解説 図画工作編』文部科学省										
<b>参考書・参考文献等</b>	授業の中で適宜、紹介する。										
<b>履修上の注意等</b>	指示に従って、必要な材料・用具などは各自準備すること。										
<b>実務経験との関連</b>	実務経験の有無	有	小学校現場については、管理職(校長)として現場経験があり、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する。								

[2408] 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
家庭科教育法 I			演習	工藤寧子	3年	前期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30		2	○				期末試験	50	有				
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート			
	○	—	—	○	—	—	—	○	○	○		○	○	○	
<b>当該科目のキーワード</b>	≪知識・理解≫		家庭科教育の意義								期末試験は試験後に解説を行う。授業内提出物・活動は、授業内でコメントをする。				
	≪汎用的技能≫		課題解決学習												
	≪態度・志向性≫		自立した家庭生活												
<b>授業概要</b>	家庭科教育の変遷をふまえて、家庭科の意義・目標・内容を把握し、現代の生活課題について理解する。また、学習指導案の作成、授業づくりの工夫、家庭科における評価方法の基礎的・基本的な力を身に付け、児童の実践に即した学習指導案と評価を計画する能力を身に付ける。										グループワーク、模擬授業				
<b>授業の到達目標</b>	①小学校・中学校・高等学校家庭科教育の意義がわかる。 ②小学校・中学校・高等学校家庭科教育の目標・内容について理解する。 ③学習指導案の作成、学習評価をするための基礎的・基本的な力を身に付ける。 ④教材研究の視点を持つことができる。														
<b>単位認定の要件</b>	到達目標①～④の合計が60点以上であること。														
<b>授業計画</b> (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容													
	1	ガイダンス、小・中・高等学校の家庭科の振り返り 予習:(90分) 家庭科の内容を振り返ってまとめる 復習:(90分) 小・中・高等学校の家庭科の教科書を読む													
	2	家庭科教育の意義、学習指導要領について 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 家庭科教育の意義を理解する													
	3	小学校・中学校・高等学校家庭科の位置付け 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 家庭科の特徴を理解する													
	4	小学校の家庭科 目標及び内容、教科書の内容を把握、指導計画 指導上の問題点 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 小学校の目標と内容を覚える													
	5	中学校の家庭科 目標及び内容、教科書の内容を把握、指導計画 指導上の問題点 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 中学校の目標と内容を覚える													
	6	高等学校の家庭科 目標及び内容、教科書の内容を把握、指導計画 指導上の問題点 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 中学校の目標と内容を覚える													
	7	年間の指導計画、学習指導と評価の計画 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 学習指導計画の立て方を理解する													
	8	学習指導案作成について 予習:(90分) 既存の学習指導案に目を通す 復習:(90分) 授業内容を振り返る													
	9	学習指導案の比較、教材研究 予習:(90分) 既存の学習指導案を比較 復習:(90分) 授業内容を振り返る													
	10	模擬授業観察の方法、模擬授業学習指導案の作成 予習:(90分) 小・中・高等学校の学習内容に目を通す 復習:(90分) 学習指導案の作成													
	11	模擬授業と相互評価(A領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正													
	12	模擬授業と相互評価(B領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正													
	13	模擬授業と相互評価(B領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正													
	14	模擬授業と相互評価(C領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正													
	15	模擬授業全般についてまとめ 予習:(0分) 復習:(180分) 自身の課題を考え、まとめる													
<b>教科書・教材</b>	小学校学習指導要領解説 家庭編 わたしたちの家庭科5・6(開隆堂)、新しい家庭5・6(東京書籍)														
<b>参考書・参考文献等</b>	特になし														
<b>履修上の注意等</b>	教科「家庭」が基礎科目となるため、使用した資料・教材を持参すること。														
<b>実務経験との関連</b>	実務経験の有無	無													

[2409] 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
体育科教育法			演習	上野秀人	3年	前期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無								
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士									
2	15	30		2	○				期末試験	20	無						
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、適切な課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力		チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	10	無
	○	—	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	—	○			
当該科目の キーワード	《知識・理解》		体育科教育学、授業づくり									アクティブラーニングの有無 (内容)	有				
	《汎用的技能》		構想力														
	《態度・志向性》		協働性														
授業概要	新小学校学習指導要領解説書 体育編に沿い、学習指導計画の目的、ねらい、作成法等について解説する。特に、情報機器の活用を含めた授業づくり、場の工夫や教材開発といった教師の手だてについて「学校体育実技指導資料」や「授業場面の映像」等を用いて比較・解説したり、意見交流等を行ったりする。									グループワーク、模擬授業							
授業の 到達目標	目標：小学校学習指導要領解説書 体育編の概要が理解できるとともに、学習指導計画の目的、ねらい、作成法等が理解できるようにする。 テーマ：「体育の授業づくり基礎」																
単位認定の要件	到達目標の合計が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	体育科教育とは、「体育科教育法」の目的、及び概要・計画 予習：(45分) 小学校学習指導要領解説書「まえがき」「目次」を読むことと量感をつかむ 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う															
	2	体育学習と法 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う															
	3	体育の「目標及び便益」と「授業の実際」【参考：授業場面の映像】 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う															
	4	小学校学習指導要領 体育編の読取り【参考：文科省HP】 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う															
	5	教材化・手だての工夫、運動の特性【参考：学校体育実技資料】 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う															
	6	学習指導計画の概要・構想 (ICT等の活用を含む) 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う															
	7	指導案の作成方法【参考：指導案の作成手順】 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う															
	8	授業づくり1「単元の構想」(ICT等の活用を含む) 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う															
	9	授業づくり2「指導計画と評価計画」(ICT等の活用を含む) 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う															
	10	授業づくり3「本時の構想、手だての工夫」 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う															
	11	授業づくり4「指導案記載事項の整合性、指導と評価」 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う															
	12	模擬授業と授業改善【参考：模擬授業撮影による省察・振り返り】 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う															
	13	保健学習に関する基本概念 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う															
	14	保健授業の指導と評価 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う															
	15	体育科教育の実践研究の動向【参考：インターネット活用調査】 予習：(45分) 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える 復習：(45分) 授業内容について振り返りを行う															
教科書・教材	「小学校学習指導要領解説 体育編」 文部科学省																
参考書・ 参考文献等	「学校体育実技指導資料 ゲーム及びボール運動」文部科学省 (DVD) 「学校体育実技指導資料 器械運動指導の手引き」文部科学省 (DVD)																
履修上の 注意等	書式に合せた学習指導案作成の基礎力習得、及び、積極的な意見交換を期待する																
実務経験との 関連	実務経験の有無	有	小学校及び在外教育施設における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する														

[2410] 専門教育科目 各教科の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
外国語(英語)教育法			演習	杉本久美子	3年	後期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士			
2	15	30		2	○					
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然	《汎用的技能》 コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力	《態度・志向性》 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末試験 期末レポート 60 有 授業内小テスト 授業内提出物 20 有 授業内活動 20 有 その他 計 100 フィードバックの方法					
	○	○	—		○	—	○	—	—	○
当該科目のキーワード	《知識・理解》 《汎用的技能》 《態度・志向性》	小学校での英語教育に必要な教授法について学ぶ。 指導内容に応じた教授法で英語を教えられるようになる。 英語を用いた授業に積極的に取り組む姿勢を身につける。			期末試験は採点后返却し、解答の説明を行う。授業内活動と提出物についてはその都度内容確認と所見を伝える。 アクティブラーニングの有無(内容) 有					
授業概要	本授業では小学校における外国語教育の変遷、学習指導要領に記載されている目標や内容を理解する。小学校の授業で使用する教材や教科書の趣旨について学ぶとともに、授業構成の仕方や各指導法の特性と効果、ICTの活用などについて学び、実践してみる。				教材作成、各指導方法の実演等					
授業の到達目標	目標：小学校の外国語活動や教科として外国語を指導するうえで必要とされる外国語学習法やその指導法、評価について基本的な知識・技術の習得を目標とする。 テーマ：小学校外国語教育に関する基礎知識と指導法を理解し、実践する。									
単位認定の要件	授業内提出物(20%)、授業内活動(20%)および期末レポート(60%)の合計が60点以上であること。									
<b>授業計画</b> (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	授業概要説明、小学校英語教育の変遷と意義 予習:(30分) 『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』の学校段階別の目標および5つの領域別の目標について内容を確認する。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。 ※各回の予習に関しては授業内にて指示。復習は各回同様。								
	2	小学校学習指導要領、外国語および外国語活動の目標と内容 予習:(30分) 復習:(30分)								
	3	小学校における英語教育の現状と役割(小・中・高等学校との連携について) 予習:(30分) 復習:(30分)								
	4	母語および第二言語習得理論、コミュニケーション能力について 予習:(30分) 復習:(30分)								
	5	関連領域からみる小学生の特徴と英語教育のありかた 予習:(30分) 復習:(30分)								
	6	代表的な外国語(英語)教授法 予習:(30分) 復習:(30分)								
	7	授業実施のための環境づくり、学校や児童の多様性への対応、異文化理解の視点ラスルーム・イングリッシュ、ALT等とのチーム・ティーチングによる指導のあり方 予習:(30分) 復習:(30分)								
	8	英語の音声と綴りの特徴およびフォニックス指導 予習:(30分) 復習:(30分)								
	9	教材開発と活用(デジタル教材と電子黒板、タブレット端末の活用も含む) 予習:(30分) 復習:(30分)								
	10	年間指導計画・単元計画と目標の作り方 予習:(30分) 復習:(30分)								
	11	評価方法(振り返りカード、Can-Doリスト) 予習:(30分) 復習:(30分)								
	12	指導案作成および模擬授業①(授業の導入) 予習:(30分) 復習:(30分)								
	13	指導案作成および模擬授業②(導入から展開へ) 予習:(30分) 復習:(30分)								
	14	指導案作成および模擬授業③(展開からまとめへ) 予習:(30分) 復習:(30分)								
	15	授業内容総括(まとめ・振り返り) 予習:(30分) 復習:(30分) 各授業で学習した指導法、教材研究、などを復習し、指導案を作成する。								
教科書・教材	酒井英樹(2017)『小学校で英語を教えるためのミニマル・エッセンシャルズ』三省堂									
参考書・参考文献等	小学英語で使用したテキスト『楽しく教える子ども英語 Basic English for Teachers of Young Learners』泉恵美子 多田玲子 田邊義隆 編著 朝日出版社 ¥2000+税 も併せて使用します。									
履修上の注意等	授業内活動には積極的な姿勢で取り組むこと。									
実務経験との関連	実務経験の有無	無								

【2513】 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
子どもの食と栄養			演習	山田和歌子	3年	後期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30		2		○		○	期末試験	80	有	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、自ら課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート		無
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力		チームワーク	リーダーシップ	倫理観
	○	—	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
当該科目のキーワード	《知識・理解》		子どもの成長と発達に合わせた食と栄養に関する理解									
	《汎用的技能》		食育指導を実践できる力									
	《態度・志向性》		保育者として問題解決のための考察が出来る									
授業概要	保育所、幼稚園、小学校、特別支援学校で子どもの教育や保育に携わる際に必要な食生活と栄養の特性について学ぶ。子どもの食生活の現状と課題について学び、適切な支援・対応ができるよう、グループワーク、ディスカッション、発表等を交えながら学ぶ。									グループディスカッション、グループワーク		
授業の到達目標	1)子どもの健康と食生活、成長と発達について理解を深める。 2)栄養に関する基本的な知識を理解する。 3)乳・幼・学童期の栄養と食生活の特徴を理解する。 4)食育基本法について理解し子どもの食教育について支援できる。 5)家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について学ぶ。 6)疾病および体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもについて基礎知識を理解できる。											
単位認定の要件	到達目標の1)～6)の合計が60点以上であること。											
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容										
	1	オリエンテーション 子どもの健康と食生活 予習:(45分)ラパスを読んで、講義概要や到達目標などを理解する。教科書の第1章を読み予習する。 復習:(45分)講義内容、講義目標、到達目標、評価方法などを確認する。子どもの食生活の現状及び課題を理解する。										
	2	栄養に関する基本的知識 食べ物の消化と吸収、食物中の栄養素の役割、食品の分類、食事摂取基準について 予習:(45分)教科書の第2章を読み予習する。 復習:(45分)食べ物の消化と吸収、食物中の栄養素の役割、食品の分類、食事摂取基準についてノートをとる、理解する。										
	3	栄養に関する基本的知識 糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、水分について 予習:(45分)教科書の第2章を読み予習する。 復習:(45分)糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、水分についてノートをとる、理解する。										
	4	栄養に関する基本的知識 献立作成と調理の基本 予習:(45分)教科書の第2章を読み予習する。 復習:(45分)献立の基本についてノートをとる、理解する。										
	5	栄養に関する基本的知識 衛生管理(食中毒、食品表示) 予習:(45分)教科書の第2章を読み予習する。 復習:(45分)衛生管理(食中毒、食品表示)についてノートをとる、理解する。										
	6	子どもの発育・発達と食生活 子どもの発育・発達の基本、胎児期(妊娠期)の食生活 予習:(45分)教科書の第3章を読み予習する。 復習:(45分)子どもの発育・発達の基本、胎児期(妊娠期)の食生活についてノートをとる、理解する。										
	7	子どもの発育・発達と食生活 乳児期の授乳、離乳の意義と食生活 予習:(45分)教科書の第3章を読み予習する。 復習:(45分)乳児期の授乳・離乳の意義と食生活についてノートをとる、理解する。										
	8	子どもの発育・発達と食生活 幼児期の心身の発達と食生活 予習:(45分)教科書の第3章を読み予習する。 復習:(45分)幼児期の心身の発達と食生活についてノートをとる、理解する。										
	9	子どもの発育・発達と食生活 学童期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活 予習:(45分)教科書の第3章を読み予習する。 復習:(45分)学童期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活についてノートをとる、理解する。										
	10	食育の基本と内容 予習:(45分)教科書の第4章を読み予習する。 復習:(45分)食育の基本と内容についてノートをとる、理解する。										
	11	家庭や児童福祉施設における食事と栄養 予習:(45分)教科書の第5章を読み予習する。 復習:(45分)家庭や児童福祉施設における食事と栄養についてノートをとる、理解する。										
	12	特別な配慮を要する子どもの食と栄養 疾病および体調不良の子どもへの対応、障害のある子どもへの対応 予習:(45分)教科書の第6章を読み予習する。 復習:(45分)疾病および体調不良の子どもへの対応、障害のある子どもへの対応についてノートをとる、理解する。										
	13	特別な配慮を要する子どもの食と栄養 食物アレルギーのある子どもへの対応 予習:(45分)教科書の第6章を読み予習する。 復習:(45分)食物アレルギーのある子どもへの対応についてノートをとる、理解する。										
	14	グループ発表の準備 予習:(45分)各グループで発表テーマや内容を検討する。 復習:(45分)各グループで発表資料を完成させる。										
	15	グループ発表・反省・評価・まとめ 予習:(45分)各グループで発表のリハーサルを行う。 復習:(45分)試験に向けてノートや配布資料をまとめ授業全体の復習をする。										
教科書・教材	「最新 子どもの食と栄養 食生活の基礎を築くために」(学建書院)											
参考書・参考文献等	「子どもの食と栄養 改訂第3版」(中山書店)											
履修上の注意等	進め方については変更する場合があります。その際は事前にお知らせします。											
実務経験との関連	実務経験の有無	無										

【2514】 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
子育て支援			演習	安川由貴子	3年	後期	こども発達学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無										
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士											
1	15	30		1		○		○	期末試験										
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート	70	無								
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト					
	○	○	○	—	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○	○	授業内提出物	10	有
																	授業内活動	20	有
																	その他		
																	計	100	
																	フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		子育て家庭に対する支援の展開の基本の理解									ミニ発表用の提出物は、印刷して授業時に共有する。コメント・ペーパーの内容や質問は授業内で適宜共有する。							
	《汎用的技能》		子育て家庭の実態を踏まえた課題分析力と問題解決力の育成																
	《態度・志向性》		保育者としてのチームワーク力と倫理観の醸成									アクティブラーニングの有無 (内容)	有						
授業概要	子育て家庭に対する支援の展開について、ニーズに対する気づき・理解とアセスメント、基本技術、計画・評価、職員間・関係機関や専門職との連携・協働、社会資源の活用観点から具体的に学ぶ。また、子育て家庭に対する支援の実践について、様々な場や対象に即して事例検討を行い、理解を深める。										グループディスカッション、発表								
授業の 到達目標	1 保育者の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解する。 2 保育者の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。																		
単位認定の要件	到達目標に対し、総合的に評価して合計が60点以上であること。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																	
	1	保育者の行う子育て支援の特性①子どもの保育とともに行う保護者の支援 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。																	
	2	保育者の行う子育て支援の特性②日常的・継続的な関わりを通じた保護者との相互理解と信頼関係の形成、保護者や家庭の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。																	
	3	保育者の行う子育て支援の展開①子ども及び保護者の状況・状態の把握 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。																	
	4	保育者の行う子育て支援の展開②支援の計画と環境の構成 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。																	
	5	保育者の行う子育て支援の展開③支援の実践・記録・評価・カンファレンス 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。																	
	6	保育者の行う子育て支援の展開④職員間の連携・協働 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。																	
	7	保育者の行う子育て支援の展開⑤社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。																	
	8	保育所、幼稚園、認定こども園における支援①3歳未満児の保護者に対する事例 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。																	
	9	保育所、幼稚園、認定こども園における支援②3歳以上児の保護者に対する事例 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。																	
	10	地域の子育て家庭に対する支援 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。																	
	11	障害のある子ども及びその家庭に対する支援 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。																	
	12	特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。																	
	13	子ども虐待の予防と対応 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。																	
	14	要保護児童等の家庭に対する支援とその実際 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。																	
	15	多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。																	
教科書・教材	レジュメ資料を配布する。厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館、文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館。																		
参考書・ 参考文献等	授業内に適宜紹介する。																		
履修上の 注意等	子育て家庭の現状に関心をもって授業に臨んでください。ミニ発表、グループ討議と発表、ロールプレイ等も適宜取り入れるので、積極的に授業に参加すること。																		
実務経験との 関連	実務経験の有無	無																	

【2602】 専門教育科目 保育内容の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
健康の指導法			演習	小関潤子	3年	前期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無								
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士									
2	15	30		2		○		○	期末試験								
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	20	無					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力		自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	20
	○	—	—	○	—	—	○	○	○	○	—	—	○	○	授業内提出物	20	無
															授業内活動	40	有
															その他		
															計	100	
															フィードバックの方法		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		発達発達・指導の系統性							課題やミニバーバーVTRIによる振り返り。							
	《汎用的技能》		伝達能力・能動的言動							アクティブラーニングの有無(内容)			有				
	《態度・志向性》		協同性・受容力・包括的														
授業概要	領域「健康」における教育・保育の有り方をふまえて、子どもの心とからだの発達発達についての理論を段階的に学ぶことにより、生活活動の意味を探り、あそびの持つ教育的意義をより一層深める。授業後半に演習活動として行う模擬保育では、5領域を考慮した各年齢に即応したあそびの研究を実践的に行い、子どもの健康維持のための発達発達に合った運動遊びを考えることで、支援者として保育の在り方を考えるものとする。									グループ討議と問題解決学習・模擬授業							
授業の到達目標	1、日常の身体活動や体育的活動が幼児の生活習慣や健康に大きく影響することを関連づけて理解することが出来る。 2、運動遊びの指導・支援の展開理論を理解し、実際に展開できるようにする。 3、幼児期の身体活動が将来にわたる健康に大きな影響があることを理解し、他の領域との関連を図りながら主体的に学習に取り組むことが出来る。																
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	授業の概要(目的、計画、履修上の留意事項)について乳幼児の健康にまつわる今日の課題を考え、保育者の役割を考える 予習:30(分)～課題について考察する 復習:20(分)～保育者の役割についてまとめる															
	2	子どもの心とからだの発達発達と健康教育との関連理解 手あそび指導(表現)の活用法 予習:40(分)～身体発達の特徴について教科書をみてまとめる。幼少期に受けた健康教育について振り返りまとめる。 復習:40(分)～保育者が出来る健康教育をまとめる。手あそび指導の練習															
	3	運動発達と子どもの体向上のための運動遊び① 動きの量的展開法、手あそびの研究1班 予習:20(分)～2年次の活動の振り返りと展開のポイントをまとめる 復習:30(分)～展開法をまとめる															
	4	運動発達と子どもの体向上のための運動遊び② 動きの質的展開法 手あそびの研究2班 予習:20(分)～2年次行った活動の振り返りと展開のポイントをまとめる 復習:30(分)～具体的な展開法についてまとめる															
	5	運動発達と子どもの運動遊び③ 鬼遊びを中心とした個から集団への遊びの展開 手あそびの研究3班 予習:20(分)～幼い頃に行った鬼遊びの言語化 復習:30(分)～展開例毎に展開法をまとめる															
	6	小型移動遊具(フープ、縄、ボール等)のあそびについて理解と指導の支援の実際・展開演習 手あそびの研究4班 予習:20(分)～経験した遊びの書き出し 復習:30(分)～系統性に添った展開法をまとめる															
	7	身近な物(新聞・タオル・段ボール等)を使った運動遊びの支援の実際・展開演習 手あそびの研究5班 予習:20(分)～経験した遊びの書き出し 復習:30(分)～展開の順序性を考えてまとめる															
	8	簡単なリズムダンスの作成と指導支援の実際 発達に即した展開と演習 すき間時間を利用した遊びの活用① 予習:20(分)～経験したステップの確認 復習:90(分)～ダンスの作成															
	9	保護者との連携と健康教育を考える。親子での活動支援演習①(運動遊びによる子育て支援) すき間時間を利用した遊びの活用② 予習:20(分)～知っている活動のピックアップ 復習:30(分)～支援者として出来る活動をまとめる															
	10	保護者との連携と健康教育を考える。親子での活動支援演習②(安全・衛生指導の在り方と安全管理) すき間時間を利用した遊びの活用③ 予習:30(分)～園における危険箇所・事項のピックアップ 復習:30(分)～解決策の考察															
	11	保護者との連携と健康教育を考える。親子での活動支援演習③(生活習慣と食習慣) すき間時間を利用した遊びの活用④ 予習:30(分)～自己の生活習慣を振り返る 復習:30(分)～支援の方法をまとめる															
	12	指導案の立案の手順理解と保育展開の実践と評価法 すき間時間を利用した遊びの活用⑤ 予習:20(分)～対象者の決定と特徴の理解 復習:30(分)～指導案の作成															
	13	模擬保育(4歳児)ー保育研究と教材研究及び討議(グループディスカッションと振り返り) すき間時間を利用した活用⑥ 予習:40(分)～4歳児の体と心の特徴特性を理解しておく 復習:30(分)～問題点・改善点をまとめる															
	14	模擬保育(3歳児)(5歳児)の保育研究と教材研究及び討議(グループディスカッションと振り返り) 予習:40(分)～3歳児と5歳児の心お体の特徴特性を理解しておく 復習:30(分)～問題点・改善点をまとめる															
	15	技術の確認 子どもの健康課題と運動あそびの関連性 幼少連携についての討議 予習:40(分)～実技の練習 健康課題の解決に結びつくことは何かをまとめる 復習:40(分)～討議内容のまとめ															
教科書・教材	保育内容「健康」 建邦社																
参考書・参考文献等	文部科学省「幼稚園教育要領解説」(フレーベル社) 「健康の指導法」(玉川大学出版部) 厚生労働省「保育所保育士新解説書」(フレーベル社) 日本発達発達学会編 幼児期運動指針実践ガイド(杏林書院)																
履修上の注意等	子ども・保育者の両者の視点から心情を理解し、活動に対して意欲的に取り組むこと。活動しやすい服装、身だしなみで参加すること。																
実務経験との関連	実務経験の有無	有	保育園や幼稚園等で運動指導・健康教育経験のある教員が、現場指導での指導のポイントや留意点等を指導する														

【2604】 専門教育科目 保育内容の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
環境の指導法			演習	佐藤崇之	3年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30		2		○	○		期末試験							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート	40	有					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適応し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト	30
	○	—	○	—	—	○	○	—	—	—	○	—	○	授業内提出物	30	無
														その他		
														計	100	
														フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		環境・環境教育の定義と認識、環境教育教材の理解									授業内提出物は次回にて解説を行う。期末レポートは作成資料を推敲するものとする。				
	《汎用的技能》		発表会での質疑応答、指導場面の論理的な展開、指導場面の企画									アクティブラーニングの有無 (内容)			有	
	《態度・志向性》		園児・保護者・社会人に向けた情報発信と説得力													
授業概要	子どもの特質や特徴を知り、彼らの置かれている生活環境および彼らに関わらせたい自然環境を理解し、子どもとの良好なコミュニケーションの取り方を試行したい。その試みを本授業において行う中で、子どもが自ら自然の認識を高めて進歩し発展するための、支援・指導を行う技術が向上し、環境に対する考え方も幅が広がると考える。その具体的な実践のあり方を考察し、実行に移すことができる可能性を検討する。											授業中に教員が問いかけを行い、履修生の意見をふまえて授業を展開することがある。				
授業の 到達目標	幼児が、取り巻く自然や人々と良好な関係を築き、さまざまなことを体験・経験していくことが、成長・発達の最重要課題ととらえる。そのために、①子どもの成長と原体験や遊びの重要性を認識し、②子どもと環境の相互のはたらきを考察するとともに、③幼児教育における環境に関する教材研究について討論を重ねていくこととする。テーマは、子どもの環境の認識、遊びの新(再)開発、飼育と栽培、新たな行事の体験の提案、その他とする。															
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	環境の定義とその理解、環境を指導で取り扱う意義 予習:(0分) 復習:(10分)「環境」という言葉のさまざまな意味について説明できるようにする。														
	2	環境教育の歴史、現在の自然環境についての認識 予習:(0分) 復習:(20分)自身をとりまく自然環境を、講義内容と照合できるようにする。														
	3	学習の場や地域社会における環境教育 予習:(0分) 復習:(20分)さまざまな学習の場面において行われている環境教育について調べる。														
	4	環境教育教材の体験:野生動物を中心に 予習:(0分) 復習:(20分)野生動物を題材とした環境教育教材について調べる。														
	5	環境教育教材の体験:水環境を中心に(水の循環に着目して) 予習:(0分) 復習:(20分)水環境を題材とした環境教育教材について調べる。														
	6	環境教育教材の体験:水環境を中心に(人と水の関わりに着目して) 予習:(0分) 復習:(20分)さまざまな題材の環境教育教材について調べる。														
	7	発表会の準備:テーマ設定、アイデアの表出、資料の作成 予習:(0分) 復習:(60分)講義で取り扱ったテーマ設定やアイデアを具現化するための題材について調べる。														
	8	季節と環境:秋と冬 予習:(10分)秋と冬の自然環境について想起して、イメージをもつ。 復習:(20分)秋と冬の自然環境について、「環境」領域で利用できそうな題材を調べる。														
	9	発表会の準備:第7回の継続(他の受講生との討論をベースとして) 予習:(10分)自身のテーマやアイデアについて、他者に説明できるようにする。 復習:(90分)今回の討論の内容をもとにして、発表資料を作成する。														
	10	季節と環境:春と夏 予習:(10分)春と夏の自然環境について想起して、イメージをもつ。 復習:(20分)春と夏の自然環境について、「環境」領域で利用できそうな題材を調べる。														
	11	生き物の飼育・栽培に関する子どもの認識 予習:(10分)自身が飼育・栽培した経験があるものを発表できるようにする。 復習:(30分)「環境」領域に適した栽培や飼育についてそれぞれ調べる。														
	12	環境の指導に関する受講生の発表会・討論会:春から夏 予習:(20分)発表者は自身の発表がスムーズに行われるように準備しておく。 復習:(0分)														
	13	環境の指導に関する受講生の発表会・討論会:夏から秋 予習:(20分)発表者は自身の発表がスムーズに行われるように準備しておく。 復習:(0分)														
	14	環境の指導に関する受講生の発表会・討論会:秋から冬 予習:(20分)発表者は自身の発表がスムーズに行われるように準備しておく。 復習:(0分)														
15	まとめ:子どもと環境のあり方を考えた発表資料の推敲 予習:(10分)発表において受け取った他者からのコメントを整理しておく。 復習:(0分)															
教科書・教材	特になし															
参考書・ 参考文献等	幼稚園教育要領、保育所保育指針。その他、適宜プリントを配付する。															
履修上の 注意等	講義形式も交えつつ、演習として体験や発表、意見交換を行いながら授業が展開されます。															
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無														

【2606】 専門教育科目 保育内容の指導法に関する科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科					
表現の指導法A I			演習		諏訪才子		3年	前期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無				
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士					
1	15	30	1		○	○	○	○	期末試験					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》			
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	
	○	○	○	—	—	○	○	○	○	—	—	○	○	
当該科目の キーワード	《知識・理解》		子どもの成長・発達、子どもの歌唱・音楽									期末レポート		
	《汎用的技能》		音楽表現、弾き歌い、アンサンブル・合奏（課題発見・解決）									授業内小テスト 70 有		
	《態度・志向性》		弾き歌い、アンサンブル・合奏（自律性・協働、多様な音楽文化に対する関心・理解、表現の工夫・創造）									授業内提出物		
授業概要	子どもの成長・発達と音楽表現、音楽教育について総合的に理解する。また、これに基づいて、ピアノによる教材の弾き歌い、鍵盤ハーモニカ、簡易な打楽器、そしてリコーダーの演奏法とその初歩的指導法を中心に修得する。											授業内活動 30 有		
授業の到達目標	保育内容の領域「表現」について、音楽的視点から、子どもの成長・発達に即して理解することができる。そして、1・2年次で修得したピアノや声楽などの基礎的な演奏力と知識を応用し、弾き歌い、また、簡易打楽器や鍵盤ハーモニカなど様々な楽器の知識・奏法を中心に、音楽表現の指導法を音楽教育の広い領域の中で実践的に身につける。											その他		
単位認定の要件	実技試験と授業参加状況・平常練習状況の総合評価が60点以上。											計 100		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容											フィードバックの方法	
	1	保育園・幼稚園・小学校低学年での音楽表現の指導概念 予習:(25分)「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の領域「表現」について下読みする。 復習:(20分)保育園・幼稚園・小学校低学年での音楽表現の内容についてまとめる。											授業内活動・発表の自己評価、講評及び振り返りレッスンを行う。	
	2	子どもの発達と音楽的成長 予習:(25分)子どもの発達と音楽的成長について調べる。 復習:(20分)子どもの発達と音楽的成長についてまとめる。											アクティブラーニングの有無(内容) 有	
	3	子どもの歌唱 春の歌弾き歌い(1)歌唱法 予習:(25分)子どもの春の歌を選曲し、歌唱と伴奏練習を行う。 復習:(20分)子どもの春の歌の弾き歌いについて、指摘を受けたポイントに留意して練習する。												
	4	春の歌弾き歌い(2)伴奏法 予習:(25分)子どもの春の歌の弾き歌いの練習を行う。 復習:(20分)演奏発表について振り返り、歌唱・伴奏のポイントに留意して練習する。												
	5	生活の歌弾き歌い(1)歌唱法 予習:(25分)子どもの生活の歌を選曲し、歌唱と伴奏練習を行う。 復習:(20分)子どもの春の歌の弾き歌いについて、指摘を受けたポイントに留意して練習する。												
	6	生活の歌弾き歌い(2)伴奏法 予習:(25分)子どもの生活の歌の弾き歌いの練習を行う。 復習:(20分)演奏発表について振り返り、歌唱・伴奏のポイントに留意して練習する。												
	7	模擬保育(1)指導案作成(目的・内容・進め方・導入・展開・まとめ) 予習:(25分)指導案の中の活動で題材とする子どもの歌を選曲する。 復習:(20分)指導案を作成し、仕上げる。												
	8	模擬保育(2)模擬保育と討議 予習:(25分)指導案に沿って役割分担し、模擬保育の準備をする。 復習:(20分)模擬保育を振り返り、今後の保育指導につなげるための方法を検討する。												
	9	子どもの楽器 簡易な打楽器の特徴と奏法・アンサンブル、初歩的指導法 予習:(25分)簡易な打楽器の種類について調べる。 復習:(20分)簡易な打楽器の奏法と指導法について振り返りをする。												
	10	鍵盤ハーモニカの特徴と奏法・アンサンブル、初歩的指導法 予習:(25分)鍵盤ハーモニカの特徴や手入れの方法について調べる。 復習:(20分)鍵盤ハーモニカの奏法と指導法(特に、タンギングの技能)について振り返りをする。												
	11	リコーダーの特徴と奏法・アンサンブル 予習:(25分)リコーダーの運指を確認する。 復習:(20分)リコーダーの運指を確認し、練習する。												
	12	夏・行事の歌弾き歌い 予習:(25分)子どもの夏・行事の歌を選曲し、弾き歌いの練習を行う。 復習:(20分)弾き歌いの発表を振り返り、指摘を受けたポイントに留意して練習する。												
	13	弾き歌い個人指導(1)歌唱法・伴奏法 予習:(25分)任意の子どもの歌の弾き歌いを練習する。 復習:(20分)歌唱・伴奏の指摘を受けたポイントに留意して練習する。												
	14	弾き歌い個人指導(2)音楽表現 予習:(25分)任意の子どもの歌の弾き歌いを、音楽表現を工夫して練習する。 復習:(20分)音楽表現について指摘を受けたポイントに留意して練習する。												
	15	弾き歌い演奏発表 予習:(25分)任意の子どもの歌の弾き歌いを暗譜し、総合的に仕上げる。 復習:(20分)演奏発表について自己評価し、今後の弾き歌いの課題と練習方法・計画についてまとめる。												
教科書・教材	「音楽表現の理論と実際」桶谷弘美・吉良武志他共著(音楽之友社)、「こどものうた100」小林美実監修、井戸和秀編(チャイルド本社)													
参考書・参考文献等	「幼稚園教育要領」文部科学省、「保育所保育指針」厚生労働省													
履修上の注意等	ソプラノリコーダー(パロック式・イギリス式に限る)を準備すること。また、購入時は担当教員の指示を得ること。													
実務経験との関連	実務経験の有無	有	中学校等の音楽の授業における歌唱教材の弾き歌いの経験、また、リコーダー等楽器の指導経験を活かして、幼稚園教諭・保育士の必須技能である弾き歌いの歌唱法・伴奏法の指導、楽器の指導を行う。											

【2607】 専門教育科目 保育内容の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
表現の指導法AⅡ			演習	諏訪才子	3年	後期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
1	15	30		1		○			期末試験							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト	70
当該科目の キーワード	《知識・理解》		子どもの歌唱・器楽、子どもの歌創作						授業内活動・発表の自己評価、講評及び振り返りレクチャーを行う。							
	《汎用的技能》		音楽表現、弾き歌い、アンサンブル・合奏（課題発見・解決）						アクティブラーニングの有無 (内容)	有						
	《態度・志向性》		弾き歌い、合唱、アンサンブル・合奏、創作（自律性・協働、多様な音楽文化に対する関心・理解、表現の工夫・創造）													
授業概要	わらべ歌、遊び歌、そして子どもの歌の合唱を通して、多角的に子どもの歌と歌遊びについて理解を深める。また、小太鼓・大太鼓、鍵盤打楽器の演奏法と合奏の初歩的指導法を中心に修得する。さらに、コードネームを活用した和音伴奏による弾き歌いを創造的に体験する。								グループディスカッション、グループワーク、グループ発表							
授業の到達目標	わらべ歌、遊び歌、子どもの歌の合唱、また、小太鼓・大太鼓など様々な楽器の知識・奏法や合奏、さらに、子どもの歌創作を中心に、音楽表現の指導法を音楽教育の広い領域の中で実践的に身につける。															
単位認定の要件	実技試験と授業参加状況・平常練習状況の総合評価が60点以上。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	わらべ歌・遊び歌 予習:(25分)わらべ歌・遊び歌について調べる。 復習:(20分)わらべ歌・遊び歌を選曲し、練習する。														
	2	子どもの輪唱・合唱 予習:(25分)子どもの輪唱・合唱曲について調べ、リストアップする。 復習:(10分)子どもの輪唱・合唱曲の既習曲について、歌唱のポイントに留意して練習する。														
	3	鍵盤打楽器の特徴と奏法、初歩的指導法 予習:(25分)鍵盤打楽器の種類について調べる。 復習:(20分)鍵盤打楽器の奏法と指導法について振り返りをする。														
	4	鍵盤打楽器 アンサンブルと合奏 予習:(15分)鍵盤打楽器のアンサンブルや合奏曲を鑑賞する。 復習:(0分)														
	5	小太鼓・大太鼓の特徴と奏法、初歩的指導法 予習:(25分)小太鼓・大太鼓の特徴について調べる。 復習:(20分)小太鼓・大太鼓の奏法と指導法について振り返りをする。														
	6	小太鼓・大太鼓 アンサンブルと合奏 予習:(15分)小太鼓・大太鼓のアンサンブルや合奏曲を鑑賞する。 復習:(0分)														
	7	秋の歌弾き歌い 予習:(35分)子どもの秋の歌を選曲し、弾き歌いの練習を行う。 復習:(20分)弾き歌いの発表を振り返り、指摘を受けたポイントに留意して練習する。														
	8	冬の歌弾き歌い 予習:(35分)子どもの冬の歌を選曲し、弾き歌いの練習を行う。 復習:(20分)弾き歌いの発表を振り返り、指摘を受けたポイントに留意して練習する。														
	9	子どもの合奏 子どもの歌・マーチ・クリスマスソングモデル 予習:(40分)子どもの歌・マーチ・クリスマスソングなど合奏曲を選曲し、楽器を分担し、グループで練習する。 復習:(15分)														
	10	子どもの歌創作(1)コードネームによる簡易伴奏付け 予習:(25分)コードネームについて調べる。 復習:(10分)コードネームと唱歌形式について、まとめる。														
	11	子どもの歌創作(2)コードネームを活用した子どもの歌創作 予習:(35分)コードネームを活用し、子どもの歌を創作する。 復習:(25分)コードネームを活用した子どもの歌を創作し、楽譜を作成・完成させる。														
	12	子どもの歌創作(3)コードネームを活用した子どもの歌創作発表 予習:(35分)創作した子どもの歌の発表に向け、暗譜し、グループで練習する。 復習:(10分)創作した子どもの歌の発表について振り返り、各自、創作曲の弾き歌いを行う。														
	13	弾き歌い個人指導(1)歌唱法・伴奏法 予習:(35分)任意の子どもの歌の弾き歌いを練習する。 復習:(20分)歌唱・伴奏の指摘を受けたポイントに留意して練習する。														
	14	弾き歌い個人指導(2)音楽表現 予習:(35分)任意の子どもの歌の弾き歌いを、音楽表現を工夫して練習する。 復習:(20分)音楽表現について指摘を受けたポイントに留意して練習する。														
	15	弾き歌い演奏発表 予習:(40分)任意の子どもの歌の弾き歌いを暗譜し、総合的に仕上げる。 復習:(20分)演奏発表について自己評価し、今後の弾き歌いの課題と練習方法・計画についてまとめる。														
教科書・教材	「音楽表現の理論と実際」桶谷弘美・吉良武志他共著(音楽之友社)、「こどものうた100」小林美実監修、井戸和秀編(チャイルド本社)															
参考書・参考文献等	「幼稚園教育要領」文部科学省、「保育所保育指針」厚生労働省															
履修上の注意等	ソプラノリコーダーは、毎回用意すること。															
実務経験との関連	実務経験の有無	有	中学校等の音楽の授業における歌唱教材の弾き歌いの経験、また、リコーダー等楽器の指導経験を活かして、幼稚園教諭・保育士の必須技能である弾き歌いの歌唱法・伴奏法の指導、楽器の指導を行う。													

【2608】 専門教育科目 保育内容の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
表現の指導法B I			演習	工藤千華	3年	前期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1			小学校	○	□	期末試験	
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 10 有 授業内提出物 50 有 授業内活動 40 有 その他 計 100 フィードバックの方法
	○	—	—	○	—	—	—	—	—	○	
	≪知識・理解≫ 造形的な理解と支援のあり方		技術面の指導								
	≪汎用的技能≫ 非言語によるコミュニケーション能力										
≪態度・志向性≫ 造形表現を通じたチームワーク		アクティブラーニングの有無(内容) 有									
授業概要	幼児の造形活動の理解や支援に必要な表現能力、発達段階や表現形式など基礎的知識を習得する。幼児期の造形表現の年齢的展開を基礎として身近な素材を通じて制作・発表し具体的展開の技術を習得する。									体験学習・グループでの作業活動	
授業の到達目標	造形表現の楽しさを実習を通して体感し、獲得した知識・技術・態度等を総合的に活用し、自から立てた新たな課題に向けて解決する能力を習得する。保育者として自ら表現する楽しさを感じ、子どもの発達に応じた表現の指導力が身につく。										
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。										
<b>授業計画</b> (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	幼稚園教育要領・保育所保育指針における「表現」領域及び小学校の連携(「図画工作」)の学習指導要領) 予習:(分)15 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。									
	2	造形活動の基礎。造形の理解と支援に必要な描画材料等の説明と概要。幼稚園教育要領と保育所保育指針から 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。									
	3	①身近な素材による教材研究 紙の変身「平面と立体」 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。									
	4	①身近な素材による教材研究 廃材を使って 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。									
	5	①身近な素材による教材研究 ひもを使って 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。									
	6	①身近な素材による教材研究 紙版画、共同制作 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 次の授業に向けてアイデアをまとめる。									
	7	①身近な素材による教材研究 スチレン版画、共同制作 予習:(分)15 製作に必要なアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 次の授業に向けてアイデアをまとめる。									
	8	①身近な素材による教材研究 スチレン版画、共同制作 完成 予習:(分)15 製作に必要なアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。									
	9	発表と鑑賞会 予習:(分)15 グループ内で発表内容をまとめておく 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。									
	10	絵の世界 子どもの絵を「見る」とは?「思いを伝える見せ方」を考える。 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。									
	11	②実践的な指導法の学習 指導案作成 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 次の授業に向けてアイデアをまとめる。									
	12	②実践的な指導法の学習 グループでの指導案作成 予習:(分)15 必要なアイデアをまとめておく。 復習:(分)30 次の授業に向けて各自アイデアをまとめておく。									
	13	②実践的な指導法の学習 指導案を考えるための教材研究 予習:(分)15 必要なアイデアをまとめておく。 復習:(分)30 次の授業に向けてアイデアをまとめる。									
	14	各グループプレゼンテーション・共有 予習:(分)15 必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。									
15	各グループプレゼンテーション・共有 予習:(分)15 必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。										
教科書・教材	『幼稚園教育要領』文部科学省・『保育所保育指針』厚生労働省										
参考書・参考文献等	「表現指導法感性を育て、表現の世界を拓く」萌文書林・「子どもの活動が広がる・深まる保育内容『表現』」中央法規 必要に応じて随時資料を配布する。										
履修上の注意等	衣服が汚れる場合もあります、トレーニングウェア、エプロン着用での受講可										
実務経験との関連	実務経験の有無	有	保育士として私立保育園に勤務、保育所における造形指導の実務を行う。実務経験をもとに造形に関する知識や技能等を指導する。								

【2609】 専門教育科目 保育内容の指導法に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科						
表現の指導法BⅡ			演習	工藤千華	3年	後期	こども発達学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士				
1	15	30		1			小学校	○	保育士	期末試験			
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 その他		
	○	—	○	○	—	—	—	○	—	—		計	100
	フィードバックの方法												
	制作時間の確保・技術面の指導												
<b>当該科目のキーワード</b>	≪知識・理解≫ 造形的な理解と支援のあり方		≪汎用的技能≫ 非言語によるコミュニケーション能力				≪態度・志向性≫ 造形表現を通じたチームワーク				アクティブラーニングの有無(内容) 有		
<b>授業概要</b>	子どもの表現活動を支える援助者として学生自身が表現力を向上させるとともに、子どもたちに表現することのすばらしさを伝える指導力の育成を目指す。ファッションショーや壁面製作を学び、自らの実践による活動から具体的展開の技術を習得する。									体験学習・グループでの作業活動			
<b>授業の到達目標</b>	造形表現の楽しさを体験を通して体感し、獲得した知識・技術・態度等を活用し共同で立てた企画(コンセプト)に向けてグループで解決する能力を習得する。教材研究に対して主体的・計画的に取り組むことができる。												
<b>単位認定の要件</b>	到達目標①～③の合計が60点以上であること。												
<b>授業計画</b> (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容											
	1	子どもにとっての表現とは 大人の表現とどう違うのか 予習:(分)15 幼稚園教育要領の「表現」を熟読しておく。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。											
	2	①自然素材による教材研究「ビニールを活かして」 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。											
	3	①身近な素材による教材研究「ビニールファッションショー」デザインの構想 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。											
	4	①身近な素材による教材研究「ビニールファッションショー」リハーサル、振り付け 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業内容の振り返りを行う。											
	5	①身近な素材による教材研究「ビニールファッションショー」発表会とまとめ 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。											
	6	②自然素材による教材研究「葉や枝などを活かして」 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめておく。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。											
	7	②自然素材による教材研究「葉や枝などを活かして」 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめておく。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。											
	8	③教材研究「壁面製作」折り紙、染紙を使って 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。											
	9	③教材研究「壁面製作」グループワーク 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。											
	10	③教材研究「壁面製作」グループワーク 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。											
	11	④教材研究「共同オブジェ」グループワーク 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。											
	12	④教材研究「共同オブジェ」グループワーク 予習:(分)15 授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。											
	13	④教材研究「共同オブジェ」グループワーク 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。											
	14	④教材研究「共同オブジェ」グループワーク 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。											
	15	④教材研究「共同オブジェ」発表 予習:(分)15 製作のアイデアをまとめ必要な材料を集める。 復習:(分)30 授業の振り返りを行う。											
<b>教科書・教材</b>	『幼稚園教育要領』文部科学省・『保育所保育指針』厚生労働省												
<b>参考書・参考文献等</b>	「実践こころふれあう子どもと表現」みらい「表現指導法感性を育て、表現の世界を拓く」萌文書林・「子どもの活動が広がる・深まる保育内容『表現』」中央法規												
<b>履修上の注意等</b>	衣服が汚れる場合もあります、トレーニングウェア、エプロン着用での受講可												
<b>実務経験との関連</b>	実務経験の有無 有	保育士として私立保育園に勤務、保育所における造形指導の実務を行う。実務経験をもとに造形に関する知識や技能等を指導する。											

【2702】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科				
教育行政			講義		中村恵佑		3年	前期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30			2		○	○					
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシ 論理的 思考力 問題 解決力			≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リーダ シップ 倫理 観 社会 的 責任 生涯 学 習 力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》 期末試験 期末レポート 40 無 授業内小テスト 授業内提出物 60 有 授業内活動 その他 計 100 フィードバックの方法		
			○ — ○ — — — ○ ○ — — — — — — —										
<b>当該科目のキーワード</b>			≪知識・理解≫ 教育制度、教育改革		≪汎用的技能≫ 教育改革のメリット・デメリット			≪態度・志向性≫			毎授業後に授業内課題の提出を求める。次回にそれに対するコメントを返す。 アクティブラーニングの有無(内容) 無		
<b>授業概要</b>			この授業では、主に、(1)教育・公教育の理念や、教育法規、教育行政・学校経営といった教育制度に関する基本的な知識・仕組みの概要と、(2)教育課程・学習指導要領や学校病理、教員の職務、教育財政、入試、学校安全などに関する各教育制度の内容や最新の改革動向という2点について学ぶことを通して、現代社会における教育制度のあり方や課題について理解・考察を深めることを目指す。										
<b>授業の到達目標</b>			(1)教育制度に関する基本的な知識や仕組みの概要が理解できるようになること。 (2)現代社会における教育制度に関する問題について、多角的・俯瞰的に理解できるようになること。 (3)昨今の教育制度改革の方向性や今後の教育制度のあるべき姿について、考察・表現できるようになること。										
<b>単位認定の要件</b>			到達目標①～③の合計が60点以上であること。										
<b>授業計画</b> (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容									
			1	授業のガイダンス 予習:(分) 復習:(分)									
			2	教育制度の基本を学ぶ①(教育、学校、教育制度、教育法規) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:(分)									
			3	教育制度の基本を学ぶ②(教育行政、学校経営、戦後の教育制度改革) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)									
			4	教育課程と学習指導要領に関する制度①(教育課程・学習指導要領の仕組みと新学習指導要領の概要) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)									
			5	教育課程と学習指導要領に関する制度②(英語教育、シティズンシップ教育、ESDなど) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)									
			6	教育課程と学習指導要領に関する制度③(主権者教育、消費者教育、道徳教育など) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)									
			7	教育課程と学習指導要領に関する制度④(ICT教育、プログラミング教育など) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)									
			8	いじめ、不登校、体罰に関する制度 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)									
			9	教員の養成・採用・研修や職務に関する制度 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)									
			10	教育財政と教育費に関する制度 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)									
			11	多様な教育・学校のあり方を実現する制度①(コミュニティスクール、インクルーシブ教育、夜間中学など) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)									
			12	多様な教育・学校のあり方を実現する制度②(株式会社・NPO法人による学校、公設民営学校、フリースクール、ホームスクールなど) 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)									
			13	大学入試に関する制度 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)									
			14	学校安全・安全教育に関する制度 予習:授業の最後で示す。次回授業の理解に必要な用語などについて、それらの意味を、文献や新聞・雑誌、インターネットなどで調べる。(30分) 復習:授業内課題の作成・提出(30分)									
			15	授業のまとめ+最終レポートに関する説明 予習:(分) 復習:(分)									
<b>教科書・教材</b>			授業中に資料を配布する。										
<b>参考書・参考文献等</b>			各回の授業内で随時紹介する。										
<b>履修上の注意等</b>			特になし										
<b>実務経験との関連</b>			実務経験の有無 無										

【2703】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科							
特別支援教育論			講義		松本敏治		3年	後期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士							
2	15	30			2		○	○								
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシ ー 論理的 思考力 問題 解決力				≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リー ダー シップ 倫理 観 社会 的 責任 生涯 学 習 力				《獲得した能力 を総合的に 利用し、 自ら設定し 自ら課題へ適 用し、その 課題を解決 する能力》	期末試験	50	無
			○	—	—	—	—	—	—	○	○	—		—	期末レポート	
<b>当該科目の キーワード</b>			≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解		≪汎用的技能≫ 問題解決力				≪態度・志向性≫ 社会的責任 倫理観				講義中に返却			
														アクティブラーニングの有無 (内容)	無	
<b>授業概要</b>			通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、学習上又は生活上の困難を理解し、個々の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法の理解を目指します。													
<b>授業の 到達目標</b>			「障害者の権利に関する条約」の批准や「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行などの近年の制度上の動向や学校教育の現状を踏まえ、インクルーシブ教育システム構築における特別支援教育の充実・推進に資するための基本的な知識・支援方法等を中心に授業を進めます。授業の展開にあたっては、多様な見方・考え方に触れ視野の拡大を図るため、講義のほか発表やディスカッション等の場面を適宜設けます。													
<b>単位認定の要件</b>			授業内活動、授業内提出物、期末テストの総計が60点以上													
<b>授業計画 (予習、復習の内 容・時間含む)</b>			回	内 容												
			1	特別支援教育の歴史的変遷と現状の概要 予習:(90分)特殊教育と特別支援教育の違いを述べよ 復習:(90分)特別支援教育の現状の課題を述べよ												
			2	障害者差別解消法と合理的配慮、インクルーシブ教育システム 予習:(90分)障害者権利条約と障害者差別解消法について述べよ 復習:(90分)合理的配慮について述べよ												
			3	特殊教育と特別支援教育の相違点及び特別支援教育に関わる制度改革のポイント 予習:(90分)特殊教育と特別支援教育の対象者はどのように変化したか 復習:(90分)普通学級に在籍する特別支援教育対象者について述べよ												
			4	特別支援教育の場における具体的配慮 予習:(90分)特別支援教育における配慮とはなにか 復習:(90分)具体的配慮としてどのようなものがあるか												
			5	知的障害の生活・学習の困難と教育内容(1) 予習:(90分)知的障害の基本的な定義はなにか 復習:(90分)知的障害の人々が抱える困難とはなにか												
			6	知的障害の生活・学習上の困難と教育内容(2) 予習:(90分)知的障害の原因として何が考えられるか 復習:(90分)出生前診断などの問題をどう考えるか												
			7	視覚障害の生活・学習上の困難と教育内容 予習:(90分)視覚障害の定義はなにか 復習:(90分)視覚障害の人々への支援や教育方法にはどのような特徴があるか												
			8	聴覚障害の生活・学習上の困難と教育内容 予習:(90分)聴覚障害の定義はなにか 復習:(90分)聴覚障害の人々への支援や教育方法にはどのような特徴があるか												
			9	肢体不自由の生活・学習上の困難と教育内容 予習:(90分)肢体不自由の定義はなにか 復習:(90分)肢体不自由の人々への支援や教育方法にはどのような特徴があるか												
			10	病弱・身体虚弱の生活・学習上の困難と教育内容 予習:(90分)病弱・身体虚弱の定義はなにか 復習:(90分)病弱・身体虚弱の人々への支援や教育方法にはどのような特徴があるか												
			11	重度重複障害の生活・学習上の困難と教育内容 予習:(90分)重度重複障害の定義とはなにか 復習:(90分)重度重複障害の人々への支援や教育方法にはどのような特徴があるか												
			12	発達障害・LDの学習上の困難と教育 予習:(90分)LDの定義はなにか 復習:(90分)LDをどのように理解するか。教育支援方法としてどのようなものがあるか												
			13	注意欠如多動症(ADHD)の特性と理解・対応 予習:(分)注意欠如多動症の定義はなにか 復習:(分)注意欠如多動症の人々の特徴と支援・対応・教育方法としてどのようなものがあるか												
			14	自閉スペクトラム症の特徴と理解・対応 予習:(90分)自閉スペクトラム症の定義はなにか 復習:(90分)自閉スペクトラム症の人々の特徴と支援・対応・教育方法としてどのようなものがあるか												
			15	その他の特別な教育的ニーズを必要とする児童生徒(貧困・外国語を母語とするこどもたち) 予習:(90分)特別な教育的ニーズを有する児童生徒としてどのような子どもが考えられるか 復習:(90分)貧困・外国語を母語とする子どもたちが抱える問題としてどのようなものがあるか												
<b>教科書・教材</b>			特になし													
<b>参考書・ 参考文献等</b>			特になし													
<b>履修上の 注意等</b>			特になし													
<b>実務経験との 関連</b>			実務経験の有無	無												

【2705】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科								
総合的な学習の時間の指導法			講義		齋藤昭		3年	前期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30	○		2		○										
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》 基礎知識の体系的 理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		《汎用的技能》 コミュニケーション スキルの 数量的 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			《態度・志向性》 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート	50	有			
	○	—	○	—	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	○	授業内小テスト	
当該科目の キーワード	《知識・理解》		目標・内容の理解・探究課題・指導計画・評価									期末レポート、授業内提出物については、コメントを記入し返却する。質問については、講義の中で解説していく。					
	《汎用的技能》		探究的な学習の過程と思考方法(比較・分類・関連等)の技法									アクティブラーニングの有無(内容)		有			
	《態度・志向性》		見通しと振り返り														
授業概要	学習指導要領解説に記載されている目標や内容について理解する。特に総合的な学習の時間における「探究的な見方・考え方」を理解する。また、実践事例を紹介しながら、他教科等との横断的視点に立った指導方法や評価について考察する。また、グループワークにより年間指導計画や単元計画を作成することで実践力を高める。											グループディスカッション、グループワーク					
授業の到達目標	①学習指導要領における目標・内容を理解する。 ②実践例を通してカリキュラム・マネジメントの視点に立った教材化や授業方法を理解する。 ③教科横断的な学習に留意しながら、指導計画や単元計画を作成することができる。 ④探究的な学習における学習指導について理解する。																
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	総合的な学習の時間の目標・内容 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	2	総合的な学習の時間での「主体的・対話的で深い学び」 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	3	課題設定の仕方 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	4	情報収集の仕方 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	5	整理・分析の仕方 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	6	まとめ・発表の仕方 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	7	全体計画・年間指導計画の作成 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	8	探究課題「横断的・総合的な課題」について 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	9	探究課題「地域や学校の特色に応じた課題」について 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	10	探究課題「児童の興味・関心に基づく課題」について 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	11	グループごとの研究 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	12	グループの発表1(1班～7班の発表) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	13	グループの発表2(8班～14班の発表) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
	14	「総合的な学習の時間」での指導と評価の一体化 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。															
15	これからの「総合的な学習の時間」の指導 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。																
教科書・教材	小学校学習指導要領解説(総合的な学習の時間編)																
参考書・参考文献等	・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校 総合的な学習の時間) 国立教育政策研究所教育課程研究センター ・(小学校編)今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 文部科学省																
履修上の注意等	「総合的な学習の時間」の学習内容を理解し、指導法について考えていきます。講義内容は事前にGoogleクラスルームに掲載するので、目を通して自分の考えや疑問点をまとめてから講義に臨んでください。																
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、教材研究、授業展開、児童理解の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する。														

【2706】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
特別活動の指導法			講義	齋藤昭	3年	後期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士							
2	15	30		2	○										
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》				《獲得した能力 を総合的に 利用し、自ら 設定し、その 課題を解決 する能力》	期末レポート	50	有		
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーション スキル	数量的 スキル	情報リテラシー	論理的 思考力	問題 解決力	自己 管理能力	チーム ワーク		リーダー シップ	倫理 観	社会的 責任	生涯 学習力	授業内小テスト
当該科目の キーワード	《知識・理解》		学習指導要領の理解・生徒指導・学級経営との関連									期末レポート、授業内提出物につ いては、コメントを記入し返却する。 質問については、講義の中で解説 していく。			
	《汎用的技能》		指導案構築の思考力・各活動の問題解決力									アクティブラーニングの有無 (内容)	有		
	《態度・志向性》		学びに向かう姿勢												
授業概要	特別活動は「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせながら、様々な課題や集団活動に自主的・実践的に取り組み、集団や自己の生活上の課題を解決する活動である。このことを踏まえ、学習指導要領で示されている育成する資質・能力について「人間関係形成・社会参画・自己実現」を理解し、指導方法について考えていく。また、教科・道徳・総合的な学習の時間・生徒指導との関連について考察するとともに、指導案作成と模擬授業を通して、実践力を身に付ける。										グループディスカッション、グループ ワーク				
授業の 到達目標	①特別活動(学級・児童・生徒会・クラブ(小学校)・学校行事)の各活動の内容を理解し、指導方法について考えていく。 ②特別活動と教科・道徳・総合的な学習の時間との関連を理解する。 ③学級活動を実践するための基本的な指導案の構成を理解し、模擬授業を通して授業展開の方法について考えていく。 ④特別活動と学級経営・生徒指導との関連について、人間関係の視点から理解する。														
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。														
授業計画 (予習、復習の内 容・時間含む)	回	内 容													
	1	特別活動の目標と内容 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
	2	特別活動の教育的意義と特質 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
	3	特別活動と道徳・生徒指導・キャリア教育 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
	4	特別活動と学級経営 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
	5	特別活動の全体計画と学級活動の年間指導の作成 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
	6	学級活動(1)の内容と指導法1(内容と指導法について理解する) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
	7	学級活動(1)の内容と指導法2(模擬授業を通して指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
	8	学級活動(2)の内容と指導法1(内容と指導法について理解する) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
	9	学級活動(2)の内容と指導法2(模擬授業を通して指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
	10	学級活動(3)の内容と指導法1(内容と指導法、授業におけるキャリアパスポートの活用について理解する) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
	11	学級活動(3)の内容と指導法2(模擬授業を通して指導法を考えていく) 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
	12	児童会・生徒会活動の内容と指導法 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
	13	クラブ活動・学校行事の内容と指導法 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
	14	特別活動における指導と評価の一体化 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。													
15	これらの特別活動 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分)講義資料をもとに講義内容を復習する。														
教科書・教材	小学校学習指導要領解説(特別活動編)														
参考書・ 参考文献等	・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校 特別活動) 国立教育政策研究所教育課程研究センター ・特別活動指導資料 みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編 文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター														
履修上の 注意等	自分が教員になったらどのような指導をしていくのかを考えながら講義に参加してください。講義資料は事前にGoogleクラスルームに掲載するので、目を通して疑問点や自分の考えをまとめてから講義に臨んでください。														
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、特別活動の目的、内容についての理解を深めるとともに、学級活動の模擬授業を通して、具体的な指導方法について考えていく。												

【2708】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
生徒・進路指導			講義	齋藤昭	3年	後期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30		2	○				期末試験			
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシー 論理的 思考力 問題 解決力			≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リーダー シップ 倫理 観 社会的 責任 生涯 学習力			《獲得した能力 を総合的に 利用し、自ら 設定し、適 した課題へ適 用し、その 課題を解決 する能力》	期末レポート	50	有
	○	—	—	○	—	—	○	○		—	○	○
<b>当該科目の            キーワード</b>	≪知識・理解≫		生きる力、自己肯定感、生徒指導の三機能									
	≪汎用的技能≫		児童生徒理解									
	≪態度・志向性≫		チーム学校									
<b>授業概要</b>	児童生徒理解なくして、あらゆる教育活動は成立しない。児童生徒理解の基本をふまえて生徒指導の基礎・基本について理解を深める。具体的な問題や課題をとおして、成長と発達、教育環境、集団と個などの観点から指導のあり方を考える。									グループディスカッション、グループ ワーク		
<b>授業の            到達目標</b>	①生徒指導とキャリア教育の意義と方法について理解を深める。 ②児童生徒が抱える諸課題について、成長と発達、教育環境との関連から具体的な対処の方法を考えることができるようになる。 ③生徒指導とキャリア教育を行う際に、教師として留意すべき事項を理解する。											
<b>単位認定の要件</b>	到達目標の①～③の達成が60%以上											
<b>授業計画            (予習、復習の            内容・時間含む)</b>	回	内 容										
	1	生徒指導の理念 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	2	現代の子どもを取り巻く問題 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	3	教育活動における生徒指導 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	4	キャリア教育・進路指導 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	5	児童生徒理解の方法と学級経営 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	6	教育相談とカウンセリング 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	7	構成的グループ・エンカウンター技法 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	8	ソーシャルスキルトレーニング技法 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	9	不登校の理解と対応 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	10	いじめの理解と対応 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	11	非行・問題行動の理解と対応 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	12	学級崩壊・授業崩壊の理解と対応 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	13	家庭・地域・関係機関との連携 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	14	生徒指導と法制度 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。										
	15	これからの生徒指導 予習:(90分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(90分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。										
<b>教科書・教材</b>	『生徒指導提要(令和4年12月版)』(文部科学省)											
<b>参考書・            参考文献等</b>	特になし											
<b>履修上の            注意等</b>	自分だったらどう指導するかを常に考えながら講義に臨んでください。また、講義資料は事前にGoogleクラスルームに掲載するので、目を通して疑問点や自分の考えをまとめてから講義に臨んでください。											
<b>実務経験との            関連</b>	実務経験 の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、児童理解の仕方、問題行動への指導の仕方などについて、具体的な場面をもとに考えていく講義にしていきたい。									

【2709】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科															
子どもの理解と援助			演習	秋臺美紀	3年	前期	こども発達学科															
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無													
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士														
2	15	30		2		○	○		期末試験													
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、適した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート												
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力		チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力								
	○	○	—	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	計	100	
当該科目の キーワード	《知識・理解》		発達援助に関わる理論の理解									授業内提出物は採点して返却し、 授業中に解説する。										
	《汎用的技能》		保育者からの働きかけや支援方法の検討																			
	《態度・志向性》		保育士とのチームワーク																			
授業概要	発達心理学に関する基礎的理論・知識を踏まえ、幼児の発達援助のため必要な理論や、園で実際生じている諸問題の背景について理解する。また、様々な事例に触れながら幼児の発達に必要な幼稚園教諭の具体的な対応および支援、他機関との共同・連携について考え、幼児の発達に関する基礎的知識を実践に応用していく力を習得することを目標とする。																			グループディスカッション、グループワーク		
授業の 到達目標	発達心理学に関する基礎的理論・知識を実践に応用させる力の習得を目標とし、 ①幼児の発達における家庭や園の役割を理解できる。 ②発達援助に関わる理論を理解できる。 ③幼児の発達に必要な幼稚園教諭の具体的な対応および支援について考えることができる。																					
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。																					
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																				
	1	幼児理解の意義 予習:(15分)子どもを理解し援助する方法について調べる。 復習:(30分) 他者と協同するために必要なコミュニケーションスキル、自分の課題について明確にする。																				
	2	子どもにとっての遊びの意義 予習:(15分) 遊びの機能(身体・運動機能、社会性の発達、知的機能の発達、自我の発達、治療的価値)について確認する。 復習:(30分) 年齢に伴う遊びの発達と意味について理解を深める。																				
	3	子どもの遊びと自発性(動機づけ理論) 予習:(15分) 内発的動機づけと外発的動機づけとはなにに調べる。 復習:(30分) 自己決定理論とはなにか、自己決定理論を活かした子どもへのかかわりについて理解を深める。																				
	4	子どもへのことばがけ(保育者からの影響) 予習:(15分) 内発的動機づけを高める方法について調べる。 復習:(30分) 内発的動機づけを高める言葉がけとは、ほめ方と子どもの行動の関係について理解を深める。																				
	5	子どもの葛藤といざご(子どものけんかへの対応) 予習:(15分) 葛藤の種類、いざごの意味、保育者の対応について調べる。 復習:(30分) 未満児・以上児のけんかの特徴と保育者の対応について理解を深める。																				
	6	子ども理解と評価(観察・記録の意義と方法) 予習:(15分) 観察法にはどのようなものがあるか調べる。 復習:(30分) 行動観察のポイント、記録の仕方、観察記録の分析について理解を深める。																				
	7	子ども理解と評価(知能検査・発達検査) 予習:(15分) 子どもの発達を調べる方法にはどのようなものがあるか調べる。 復習:(30分) 発達検査の種類・特徴と支援の方法について理解を深める。																				
	8	個々の発達を支える視点①ヒューマンバリア(発達に課題のある子どもの体験と理解) 予習:(15分) 自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症の特徴を確認する。 復習:(30分) 発達特性を抱える子どもの発達の特徴と理解、他児がいる場面での活動中の言葉がけについて理解を深める。																				
	9	個々の発達を支える視点②デザインバリア(ユニバーサルデザインを考える) 予習:(15分) 日常生活でのユニバーサルデザインを調べる。 復習:(30分) 発達特性を抱える子どもにとってのデザインバリアとユニバーサルデザインの考え方について理解を深める。																				
	10	気になる子の理解と援助①(支援のポイントを理解する) 予習:(15分) 園で見られる発達特性のある子どもの特徴について調べる。 復習:(30分) 子どもの発達特性に応じた言葉がけ、環境構成の工夫について理解を深める。																				
	11	気になる子の理解と援助②(アセスメントと具体的な対応を考える) 予習:(15分) 行動分析とはなにに調べる。 復習:(30分) 子どもをアセスメントする手段とそれに基づいた対応と支援について理解を深める。																				
	12	保護者とのつながり 予習:(15分) 親が障害の子どもを育てる心理について調べる。 復習:(30分) 親が障害を受容するプロセス、専門機関へのつなぎ方について理解を深める。																				
	13	子どものトラウマ(トラウマ症状の理解) 予習:(15分) 急性ストレス障害と心的外傷後ストレス障害とはなにに調べる。 復習:(30分) トラウマを抱えた子どもに対するプレイセラピーの効果、俳句の療育効果について理解を深める。																				
	14	子どものトラウマ症状と心理的な応急処置 予習:(15分) 年齢別のトラウマ症状とその対応について調べる。 復習:(30分) 子どもに対応する際に大人が留意するポイント、実際の災害による子どもへの影響と回復過程について理解を深める。																				
	15	発達援助における協働について考える 予習:(15分) これまでの授業内容を振り返る。 復習:(30分) 自分自身のコミュニケーション能力の変化と今後の課題について明確にする。																				
教科書・教材	適宜資料を配布する。																					
参考書・ 参考文献等	福沢周亮(監修)「保育の心理学—子どもの心身の発達と保育実践—」(教育出版)																					
履修上の 注意等	演習や活動に積極的に取り組むこと。各講義で課される小レポートをしっかりと提出すること。																					
実務経験との 関連	実務経験の有無	有	臨床心理士として学校や病院に勤めた経験から、子どもを心理学的に理解し援助する方法について講義する。																			

【2710】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
教育相談			講義	秋室美紀	3年	前期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士						
2	15	30		2		○	○	□	期末試験					
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解		≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシ ー 論理的 思考力 問題 解決力			≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リー ダー シップ 倫理 観 社会的 責任 生涯 学習 力			《獲得した能力 を総合的に 利用し、 自ら設定し 適 用し、その 課題を解決 する能力》	期末レポート				
	○	○	—	○	—	—	—	○		○	—	—	—	—
<b>当該科目の            キーワード</b>	≪知識・理解≫		児童生徒理解と共感的指導							期末レポート				
	≪汎用的技能≫		構成的グループエンカウンター							授業内小テスト				
	≪態度・志向性≫		カウンセリング技法、予防的対応、自己開示							授業内提出物				
<b>授業概要</b>	教育相談の意味や意義について理解した上で、学校現場で生じる諸問題、児童理解のための技術、カウンセリングの諸理論や予防的 対応について学んでいく。また、構成的グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング、アサーショントレーニングなどの演習を 取り上げながら、「心を開放できる学級集団作り」のための基礎的な手法を学習する。									80	有			
<b>授業の            到達目標</b>	①教育相談の意味や意義について理解できる。 ②児童理解、カウンセリング、予防的対応に必要な基本的事項を理解できる。 ③学級集団作りの具体的手法を身につける。									20	有			
<b>単位認定の要件</b>	到達目標①～③の合計が60点以上であること。									その他				
<b>授業計画            (予習、復習の内            容・時間含む)</b>	回	内 容									計			
	1	教育相談の意義と意味 予習:(90分) 教育相談とはなにかを調べる。 復習:(90分) 問題を解決する教育相談、問題を未然に防ぐ教育相談、心の危機サインにはどのようなものがあるか理解を深める。									100			
	2	児童理解①人格検査 予習:(90分) 人格検査とはなにかを理解する。 復習:(90分) 人格検査を通して分かった自分の性格特徴から自分自身の長所と短所について考える。									フィードバックの方法			
	3	児童理解②知能検査、神経心理学的検査 予習:(90分) 知能検査とはなにかを理解する。 復習:(90分) ウェクスラー式知能検査の解釈と具体的援助について理解を深めること、自分が得意・不得意な知的能力について考える。									授業内提出物は採点して返却し、 授業中に解説する。			
	4	カウンセリングの基礎理論(マイクロカウンセリング、クライアント中心療法) 予習:(90分) クライアント中心療法とはなにかを調べる。 復習:(90分) クライアント中心療法における考え方やセラピストの基本的態度、基本的傾聴技法を理解する。									アクティブラーニングの有無 (内容)			
	5	カウンセリングの基礎理論の実践(マイクロカウンセリング、クライアント中心療法) 予習:(90分) クライアント中心療法の特徴について前回の授業資料を見ておくこと。 復習:(90分) 相談場面における話の聞き方について言語・非言語それぞれの自分の課題を明確にする。									有			
	6	カウンセリングの諸理論(精神分析) 予習:(90分) 精神分析の特徴と考え方を調べる。 復習:(90分) 精神分析の局所論と構造論、防衛機制を理解する。自分自身の悩みについて精神分析の観点から考えてみる。									グループワーク、グループディス カッション			
	7	カウンセリングの諸理論(行動療法) 予習:(90分) 行動療法とはどのような心理療法かを調べる。 復習:(90分) 行動療法の特徴と考え方、実践方法を理解する。自分の悩みを行動療法を用いて解決してみる。												
	8	カウンセリングの諸理論(認知行動療法) 予習:(90分) 認知行動療法とはどのような心理療法かを調べる。 復習:(90分) 不合理な信念と合理的な信念、認知のゆがみと認知再構成法を理解する。自分の悩みについて認知再構成法を用いて解決してみる。												
	9	カウンセリングの諸理論(短期療法の基礎) 予習:(90分) 短期療法とはどのような心理療法かを調べる。 復習:(90分) システム理論と人間コミュニケーションの語用論を理解する。												
	10	カウンセリングの諸理論(短期療法の実践) 予習:(90分) 短期療法によるカウンセリング事例を調べる。 復習:(90分) ソリューションフォーカストアプローチとMRIアプローチについて理解を深める。自分の悩みについて短期療法を用いて解決してみる。												
	11	学級づくりの手法 予習:(90分) 学級崩壊が生じる背景と要因を調べる。 復習:(90分) 自分がどのような学級づくりをしていきたいか授業をもとに具体的に考える。												
	12	いじめ(概論) 予習:(90分) これまでのいじめ事件にはどのようなものがあるのか、対策として何が行われているのか調べる。 復習:(90分) いじめ防止対策推進法のポイント、いじめ集団の4層構造の特徴を理解する。												
	13	いじめ(対応) 予習:(90分) いじめの解決方法や対応についてニュースや論文をもとに調べる。 復習:(90分) 聞き取りの内容、記録、加害者・被害者・保護者への対応を理解する												
	14	不登校(概論) 予習:(90分) 不登校に関する最近のニュースや記事を調べ、現状について把握する。 復習:(90分) 普通教育機会確保法のポイントと不登校児童生徒への対応を理解する												
	15	不登校(対応) 予習:(90分) 不登校児童生徒への支援に関するニュースや論文より具体的な援助方法を調べる。 復習:(90分) 不登校児童生徒への支援における職員と保護者の連携の方法を理解する												
<b>教科書・教材</b>	特になし。													
<b>参考書・            参考文献等</b>	西本絹子「教師のための教育相談」(前文書林) 森田健宏・吉田佐治子「よくわかる! 教職エクササイズ 教育相談」(ミネルヴァ書房)													
<b>履修上            の注意等</b>	演習や活動に積極的に取り組み、各回のレポートをしっかり提出すること。													
<b>実務経験との            関連</b>	実務経験 の有無	有	スクールカウンセリングの経験のある教員が、学校現場で生じる児童・生徒の問題や臨床心理学的援助方法について講義する。											

【2716】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
事前事後指導(幼)			演習	吉田裕美子	3年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
1	15	30		1		○			期末試験							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト	40
	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	授業内提出物	40	有
														授業内活動	40	有
														その他	20	有
														計	100	
														フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		実習の意義						提出物は評価後に返却する							
	《汎用的技能》		幼児への関わり方													
	《態度・志向性》		職員との協働						アクティブラーニングの有無 (内容)			有				
授業概要	実習はこれまで学んだ知識や技術を実際の現場で先輩の先生方からの指導を受けながら、具体的な内容を内在するところに意義がある。指導内容は専門的事項から一般的なものまで多岐にわたるが、実習に対しての心構えや実習中の課題意識、事後の課題の明確化まで総合的にとらえ、その結果を将来的資質向上にも役立てていく。									グループディスカッション、グループワーク						
授業の 到達目標	1. 実習を円滑に進めていくための知識・技術を習得し、課題を明確にすることにより内容を深める。 2. 実習の意義・課題、指導計画の立案、教材研究、保育者の役割を知る。															
単位認定の要件	到達目標1と2の合計60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	実習総合オリエンテーション（幼稚園教諭課程委員会教員 吉田 裕美子） 予習:(30分) 認定会議の結果、教育実習の意義や目的 復習:(15分) 実習生としての心構え、意識を確認														
	2	実習希望調査、内諒の取り方（幼稚園教諭課程委員会 吉田 裕美子） 予習:(30分) 各園の概要を知る 復習:(15分) 幼稚園の実際に触れる														
	3	保育実技① 音楽遊び（幼稚園教諭課程委員会教員 一戸 智之） 予習:(30分) 演奏したい弾き歌い曲をリストアップする 復習:(15分) 選曲した曲の弾き歌いを練習する														
	4	保育実技② 音楽遊び（幼稚園教諭課程委員会教員 一戸 智之） 予習:(30分) 選曲した弾き歌い曲を完成させる 復習:(15分) 発表を振り返り、改善点を中心に練習する														
	5	実習先への事務手続き、調査書作成（幼稚園教諭課程委員会教員 吉田 裕美子） 予習:(30分) 各園の概要について知り、実習関係書類の作成する 復習:(15分) 記入漏れがないか確認する														
	6	観察・参加実習(附属幼)の心得（幼稚園教諭課程委員会教員 吉田 裕美子） 予習:(30分) 柴田幼稚園観察実習について 復習:(15分) 配属クラス発表、各年齢の発達について学ぶ														
	7	保育実技③ 絵本、紙芝居の選び方・語り聞かせ（幼稚園教諭課程委員会教員 吉田 裕美子他） 予習:(30分) 児童文化財についての教材研究「お話に触れる」 復習:(15分) 選んだ教材を使って実践する														
	8	保育実技④ 廃品を活用して教材づくり、その指導法・発表（幼稚園教諭課程委員会教員 吉田 裕美子他） 予習:(30分) 身近な材料を使って教材を作る 復習:(15分) 発表を振り返り、改善点を話し合う														
	9	指導計画の意義、指導計画の作成①（ゲストスピーカー 柴田幼稚園 一戸 幸子） 予習:(30分) 指導計画とは 復習:(15分) 活動案について話し合う														
	10	指導計画の意義、指導計画の作成②（ゲストスピーカー 柴田幼稚園 一戸 幸子） 予習:(30分) 子どもの年齢、場面設定を考え活動案を作成する 復習:(15分) 活動案について話し合い、意見を出す														
	11	指導計画の作成と実際、指導案の作成③（幼稚園教諭課程委員会教員 吉田 裕美子） 予習:(30分) 模擬保育について 復習:(15分) 各班での模擬保育について話し合い、指導案を完成させる														
	12	保育実践力の育成①（ゲストスピーカー 柴田幼稚園 一戸 幸子、幼稚園教諭課程委員） 予習:(30分) 3歳児模擬保育 復習:(15分) 発表を振り返り、改善点を話し合う														
	13	保育実践力の育成②（ゲストスピーカー 柴田幼稚園 一戸 幸子、幼稚園教諭課程委員） 予習:(30分) 4歳児模擬保育 復習:(15分) 発表を振り返り、改善点を話し合う														
	14	保育実践力の育成③（ゲストスピーカー 柴田幼稚園 一戸 幸子、幼稚園教諭課程委員） 予習:(30分) 5歳児模擬保育 復習:(15分) 発表を振り返り、改善点を話し合う														
	15	実習直前、諸連絡（幼稚園教諭課程委員会） 予習:(30分) 実習直前における諸連絡 復習:(15分) 実習準備を行う														
教科書・教材	『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』															
参考書・ 参考文献等	特になし															
履修上の 注意等	実習への意欲や期待感を持ち、課題意識に取り組む姿勢で臨む。															
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	幼稚園教諭の経験を活かし、幼稚園教諭としての責任感や使命感についての心構えや子どもとの関りについて、教育実習の経験を踏まえ、指導里力について探求する科目である。													

【2717】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目		授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科										
教育実習(幼)		実習		吉田裕美子		3年	前期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格					単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修		選択			小学校	幼稚園		保育士							
4				4					○					期末試験				
<b>学力力の分類</b> 当該科目で育成 できる主要な 分類項目		≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的 理解			≪汎用的技能≫ コミュニケーション スキル 数量的 スキル 情報リテラシー 論理的 思考力 問題 解決力					≪態度・志向性≫ 自己 管理力 チーム ワーク リー ダー シップ 倫理 観 社会的 責任 生涯 学習力					《獲得した能力を総合的に 利用し自ら設定した課題へ適 用し、その課題を解決する 能力》		期末レポート	
		授業内小テスト																
		授業内提出物		20	有													
		授業内活動																
		その他(実習園)		80	有													
		○		-		-		○		○		○		○				
<b>当該科目の キーワード</b>		≪知識・理解≫			実習の意義									実習園から返却された実習録等 は、所見と共に返却する				
		≪汎用的技能≫			幼児への関わり方													
		≪態度・志向性≫			職員との協働											アクティブラーニングの有無 (内容)	有	
<b>授業概要</b>		幼稚園教育実習は、幼稚園教諭一種免許状を取得するための必修科目である。幼稚園教諭の職務を体験し、専門的知識・技術・人間性について指導を受けると共に、自ら学ぼうとするなど幼稚園教諭としての資質や技能などを学ぶ能力を身に付けること。										指導案作成、保育の実践、教育実習反省報告会の準備・発表など						
<b>授業の 到達目標</b>		1. 幼稚園の役割と具体的な仕事内容を知る。 2. 幼児の発達について理解する。 3. 指導計画を作成し、研究保育、教材及び指導法の研究を通してクラス経営のあり方を理解する。																
<b>単位認定の要件</b>		実習終了後、各園からの評価を本学所定の評価基準に基づき単位化する。																
<b>授業計画 (予習、復習の内容・ 時間含む)</b>		<b>内 容</b>																
		<b>【実習期間および日数】</b> 8月中旬～9月下旬 各園に合わせ18日間実施																
		<b>【実習園】</b> ①弘前市内および近隣の協力園 9園 ②出身地(県内外)の受け入れ園一公立・私立 18園																
		<b>【ガイダンス・事前準備】</b> ・実習準備として事前にガイダンスを数回行う。実習希望者は必ず出席すること。 ・また「事前事後指導」(1単位)において実習にあたっての心構えや園務に関する予備知識および教育活動の基本を学ぶ。																
		<b>【実習内容】</b> ・園児の遊びの様子やクラス活動の観察、参加 ・本実習での実習(観察・参加実習、部分実習、全日実習) ・園行事に参加 ・実習中は実習録に日々の活動内容等を記録し、担当教員の指導を受ける。 ・実習中は健康管理に注意し、 実習園では礼節をもって行動し、幼児理解・教育現場の理解につとめる。 ・実習終了後、実習の振り返りとして実習体験記録を作成し、実習生による反省会(2年次との交流会)で活動内容の報告を行う。																
<b>教科書・教材</b>		『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』																
<b>参考書・ 参考文献等</b>		特になし																
<b>履修上の 注意等</b>		体調管理に留意し、事前訪問等の内容を確認し準備に努める。																
<b>実務経験との 関連</b>		実務経験 の有無	有	幼稚園教諭の経験を活かし、幼稚園教諭としての責任感や使命感についての心構えや子どもとの関りについて、教育実習の経験を踏まえ、指導力について探求する科目である。														

【2803】 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
社会福祉			講義	小野昇平	3年	後期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
2	15	30		2				○	期末試験 70 有	
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 30 有 授業内活動 その他 計 100 フィードバックの方法	
	○	—	○	—	—	—	—	—		○
<b>当該科目のキーワード</b>	≪知識・理解≫		社会福祉の諸制度の概要							毎回提出してもらうまとめレポートについては次週に解説を行う。試験についても模範解答を出す。  アクティブラーニングの有無(内容) 有
	≪汎用的技能≫		制度の存在理由についての理解							
	≪態度・志向性≫		「援助」の視点を持つこと							
<b>授業概要</b>	現代社会において様々な困りごとを抱える人たちを支えるための制度が社会福祉である。この講義では、現代社会における社会福祉の意義を踏まえ、また支援を必要としている人たちがどのような困りごとを抱えているのかを理解した上で、具体的な制度についての知識を獲得することを目的とする。									
<b>授業の到達目標</b>	① 種々の社会福祉制度の内容について最低限の知識を身に付けること。 ② 社会福祉を巡る現代的課題についてある程度自分の言葉で説明できるようになること。									
<b>単位認定の要件</b>	到達目標①～③の合計が60点以上であること。									
<b>授業計画</b> (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	社会福祉制度の全体像をとらえよう 予習: 令和4年度版厚生労働白書の概要版に目を通して、内容を説明できるようにしておく。(90分) 復習: 配布された参考資料に目を通して、内容を説明できるようにしておく。(90分)								
	2	社会福祉・社会保障の存在意義を理解しよう 予習: 自分の周りで「生活するにあたっての困りごと」を抱えている人がどんな人かなるべく多く考えてくる。(90分) 復習: 厚労省資料「戦後社会保障史」(Webで検索)に目を通して、授業の内容を復習しておく。(90分)								
	3	社会福祉と子ども家庭福祉—貧困の連鎖について知ろう 予習: 「子どもの貧困」に関する日本財団のHPと指定された動画を見て、何が問題なのか説明できるようにしておく。(90分) 復習: 指定された動画を見て、「貧困の連鎖」を深く取り組みについて説明できるようにしておく。(90分)								
	4	社会福祉の実施体制について理解しよう 予習: 厚労省の「社会福祉法人制度」のWebサイトと指定された動画を見て、社会福祉法人制度について説明できるようにしておく。(90分) 復習: 厚労省の「社会福祉事業」のWebサイトを見て、第一種第二種の社会福祉事業について説明できるようにしておく。(90分)								
	5	社会福祉施設と社会福祉の専門職 予習: 指定された動画と配布資料を読んで、社会福祉施設の種類のその内容を説明できるようにしておく。(90分) 復習: 令和4年度版厚生労働白書の第一章を読んで、内容を説明できるようにしておく。(90分)								
	6	社会福祉と相談援助—困りごとへの支援という視点 予習: 全国社会福祉協議会の「福祉の資格」Webサイトと指定された動画を見て、内容を説明できるようにしておく。(90分) 復習: 指定された動画を見て、授業内容と照らし合わせて、専門職としての資質能力を理解しておく。(90分)								
	7	利用者保護の仕組み—安心して支援を受けられるためには 予習: 厚労省「社会福祉基礎構造改革について」Webサイトと配布した資料に目を通して内容を説明できるようにしておく。(90分) 復習: 社会福祉基礎構造改革と利用者保護制度の関係について説明できるようにしておく。(90分)								
	8	広い意味での社会保障と社会福祉の関係—年金、医療と社会福祉 予習: 「年金保険」「医療保険」の制度概要についてWeb等で調べて大まかに理解しておく。(90分) 復習: 指定されたWebサイトを見て、「世代間公平性(格差)」について説明できるようにしておく。(90分)								
	9	高齢者福祉と介護保険①—介護保険制度の成立過程 予習: 「介護保険」のせ井戸概要について、Web等で調べて大まかに説明できるようにしておく。(90分) 復習: 「医療」「福祉」と「介護保険」の関係について、配布した資料を読んで説明できるようにしておく。(90分)								
	10	高齢者福祉と介護保険②—介護保険制度の内容 予習: 介護保険の具体的なサービス内容と介護報酬について、Web等で調べて説明できるようにしておく。(90分) 復習: 2021年の介護報酬改定について、授業内容と照らし合わせてその内容を理解しておく。(90分)								
	11	高齢者福祉と介護保険③—地域包括ケアシステムとは 予習: 指定されたWebサイトと動画を見て、「地域包括ケアシステム」の内容について説明できるようにしておく。(90分) 復習: 配布した資料を読んで、「地域包括ケアシステム」の課題について理解しておく。(90分)								
	12	障害者福祉①—障害とは何かについて深く考えてみよう 予習: 配布された資料に目を通し、「障害の社会モデル」について説明できるようにしておく。(90分) 復習: 「べてるの家」について、Webサイトや動画で調べ授業内容と照らし合わせてその特徴を理解する。(90分)								
	13	障害者福祉②—障害者支援の諸制度について理解しよう 予習: 厚労省「障害福祉サービス等」Webサイトを見て、どのようなサービスがあるか説明できるようにしておく。(90分) 復習: 授業内で紹介した障害者差別解消法に基づく合理的配慮の具体例を説明できるようにしておく。(90分)								
	14	生活保護制度—生活保護制度・生活困窮者自立支援制度の全体像を理解しよう 予習: 「生活保護制度」「生活困窮者自立支援制度」について、どのような人がそれを利用できるか調べてくる。(90分) 復習: 授業内で話した生活保護に関する政府や自治体の姿勢について批評できるようにしておく。(90分)								
	15	まとめ—社会保障・社会福祉がまもっているもの 予習: これまでの授業で話した内容に関するここ2, 3年のニュース記事を5本集めておく。(90分) 復習: 授業内で紹介したいくつかの事例や取り組みについて、配布資料を読んで理解しておく。(90分)								
<b>教科書・教材</b>	特になし									
<b>参考書・参考文献等</b>	講義中に紹介する参考書の一つ用意することが望ましい。									
<b>履修上の注意等</b>	講義の中で生じた疑問等は毎回の出席表下部の質問事項欄に積極的に記入すること。									
<b>実務経験との関連</b>	実務経験の有無	無								

[2816] 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
保育実習指導Ⅱ			演習	保育士課程委員会	3年	前期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士						
1	15	30		1					○					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、適切な課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力		チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
	—	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	—	○
当該科目の キーワード	《知識・理解》		保育実習Ⅱの意義・目的の理解						外部講師の講話に関するレポート、模擬保育の相互評価の結果を返却する。					
	《汎用的技能》		保育実践力の形成						アクティブラーニングの有無 (内容)			有		
	《態度・志向性》		保育者としての職業倫理・社会的責任											
授業概要	保育実習Ⅰを振り返って各自の学習内容・課題を明確化するとともに、保育実習Ⅱに向けて、既習の教科の内容をふまえて科目横断的に知識・技能を総合し、保育実践力を培うための演習を行う。また、実習施設の理解の深化のために、現場の職員からの講話を聞く機会を設ける。													
授業の到達目標	保育実習Ⅱを円滑にすすめるため、実習に対する総合的な準備を行う。そのために、保育実習の理解の深化と実践力の形成を図る。保育実習Ⅱの意義・目的を理解し、保育実習Ⅰの振り返りから自己課題を明確化するとともに、保育士の専門性と職業倫理について理解する。また、実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、実技、指導案作成、模擬保育等を通して、保育実践力を培う。実習後は、実習総括・自己評価を通して、新たな課題や学習目標を明確にする。													
単位認定の要件	授業内提出物・授業内活動・課題レポートの合計点が60点以上であること。													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容												
	1	保育実習Ⅱの概要、意義・目的、保育実習Ⅰの振り返り、保育実習Ⅰの自己評価・実習録の再点検(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)保育実習Ⅰ・Ⅱの違いを確認すること。また、実習録の記入上の注意点を見直しておくこと。 復習:(90分) 保育実習Ⅰの振り返りを通して保育実習Ⅱでの自身の課題を明確化する。実習録の書き方の改善点を考える。												
	2	子どもの最善の利益と保育士の職務の理解(業務内容と職業倫理)(こども発達学科教員) 予習:(90分)保育所保育指針の中で保育士の職務・児童の最善の利益についての記述を見つけておく。 復習:(90分) 保育所以外の場所における保育士の仕事を3つ(どこでどのような)探して、保育所の場合と比較する。												
	3	保育実技(1)基本的な生活習慣・手洗い、排泄、食事など、はしを持ち方、歯のみがき方(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)子どもの基本的生活習慣に慣れ、教材を使って指導法を実践する。 復習:(90分) 様々な教材を使って、保育場面に合わせた指導を行う。												
	4	保育実技(2)遊びの指導(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)身近な素材を使ってどんな遊びができるのかを探求する。 復習:(90分) 遊びの展開を考える。												
	5	指導案の書き方(1)部分実習の指導案(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)これまでの授業の指導案の書き方についての資料を見直しておくこと。 復習:(90分) 授業資料を読み直し、内容理解に努め、模擬保育の指導案作成に活かしていく。												
	6	指導案の書き方(2)全日実習の指導案(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)発達過程の復習をし、指導案作成に活かしていく視点をもつこと。 復習:(90分) 授業資料を読み直し、内容理解に努め、模擬保育の指導案作成に活かしていく。												
	7	保育実践力の育成～指導案作成と模擬保育(1班)(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)指導案の提出・修正・再提出、模擬保育の流れを班で確認する。 復習:(90分)模擬保育の振り返りを通して、自己課題を明確化していく。												
	8	保育実践力の育成～指導案作成と模擬保育(2班)(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)指導案の提出・修正・再提出、模擬保育の流れを班で確認する。 復習:(90分)模擬保育の振り返りを通して、自己課題を明確化していく。												
	9	保育実践力の育成～指導案作成と模擬保育(3班)(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)指導案の提出・修正・再提出、模擬保育の流れを班で確認する。 復習:(90分)模擬保育の振り返りを通して、自己課題を明確化していく。												
	10	保育実践力の育成～指導案作成と模擬保育(4班)(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)指導案の提出・修正・再提出、模擬保育の流れを班で確認する。 復習:(90分)模擬保育の振り返りを通して、自己課題を明確化していく。												
	11	保育実践力の育成～指導案作成と模擬保育(5班)(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)指導案の提出・修正・再提出、模擬保育の流れを班で確認する。 復習:(90分)模擬保育の振り返りを通して、自己課題を明確化していく。												
	12	実習施設の理解～保育所保育士講話(縦割り保育、子育て支援)～(外部講師) 予習:(90分)保育所の機能と役割について、異年齢保育や子育て支援を中心に復習しておく。 復習:(90分)講話で学んだ内容を保育実習Ⅱにどう活かすかを考察する。												
	13	保育所実習Ⅱについて～事前の準備、事前訪問、書類の作成について～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習に関する書類を作成するために必要な事項を確認する。 復習:(90分)実習実施要項の内容を確認し事前訪問時に打ち合わせを行う事項を調べる。												
	14	実習中の心得～実習の心得、諸注意、連絡事項～(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)保育実習Ⅱの目標及び評価票の項目をもとに、保育実習Ⅱで実習生に求められている内容を把握する。 復習:(90分)今回までの授業で学んだことを整理し、実習に向けた準備を行う。												
	15	事後指導(保育士課程委員会教員) 予習:(90分)実習に関するアンケート・自己評価に回答しておく。 復習:(90分)グループワークの内容をもとに保育者としての自己課題を明確化する。												
教科書・教材	厚生労働省編『保育所保育指針』フレーベル館 厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館													
参考書・参考文献等	内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館													
履修上の注意等	配布した参考資料は大事に保管し、予習・復習すること。 実習終了後の反省報告会には必ず出席すること。													
実務経験との関連	実務経験の有無	有	(吉田)幼児教育の現場経験を有する教員が実習指導案作成と模擬保育について指導を行う。											

【2817】 専門教育科目 保育士に関する科目		授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科					
保育実習Ⅱ		実習		保育士課程委員会		3年	後期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無		
			必修		選択			小学校	幼稚園	保育士			
2				2						○			
<b>学士力の分類</b> 当該科目で育成できる主要な分類項目		≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然			≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	
		○	—	—	○	—	—	○	○	○	○		
<b>当該科目のキーワード</b>		≪知識・理解≫			既習科目と保育実習Ⅰを踏まえた保育の理解							実習録の記入状況を保育士課程委員会が評価し、講評を添えて返却する。  <b>アクティブラーニングの有無(内容)</b>	
		≪汎用的技能≫			保育実践力の形成と向上								
		≪態度・志向性≫			保育者としての協働性								
<b>授業概要</b>		本実習は保育実習Ⅱ(保育所・園)として、保育実習Ⅰ(保育所・園)における学習と反省をふまえ、保育所の保育に参加して実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を習得する。また、家庭と地域の生活実態に触れ、子ども家庭福祉ニーズに対する理解、判断力を養う。									保育実践への参加、指導計画の作成と実践、省察による保育実践力の学習		
<b>授業の到達目標</b>		①保育その役割や機能について、具体的な実践を通じて理解を深める。 ②子どもの観察や関わりや視点を明確化することを通じて、保育の理解を深める。 ③既習科目と保育実習ⅠA・IBの経験をもとに、保育と子育て支援について総合的に理解する。 ④保育の計画・実践・観察・記録と自己評価などに実際に取り組むことを通じて理解を深める。 ⑤保育士の業務内容・職業倫理について、具体的な実践に結び付けて理解する。 ⑥実習における自己の課題を明確化する。											
<b>単位認定の要件</b>		到達目標①～③の合計が60点以上であること。											
<b>授業計画(予習、復習の内容・時間含む)</b>		<b>内 容</b>  10日間の本実習については、参加実習、指導実習が中心になる。 指導内容や日程計画については、実習園の事情や実習生の状況に応じて下記の内容で指導を適宜お願いする。 1. 保育所の役割や機能の具体的転回 (1)養護と教育が一体となって行われる保育の理解 (2)保育所の社会的役割と責任 2. 観察に基づく保育の理解 (1)子どもの心身の状態や活動の観察 (2)保育士等の援助や関わり (3)保育所の生活の流れや展開の把握 3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会などとの連携 (1)環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育 (2)入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援 (3)関係機関や地域社会との連携・協働 4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 (1)全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 (2)作成した指導計画に基づく保育の実践と評価 5. 保育士の業務と職業倫理 (1)多様な保育の展開と保育士の業務 (2)多様な保育の展開と保育士の職業倫理 6. 自己の課題の明確化  <b>【授業時間外学習の指示】</b> 実習記録の作成を通じて毎日の実習目標の設定とその達成状況への省察を行い、新たに課題を見出すよう努めること。											
<b>教科書・教材</b>		厚生労働省編『保育所保育指針』 厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館											
<b>参考書・参考文献等</b>		幼少年教育研究所編著『新版 遊びの指導—乳・幼児編—』同文書院 岩崎淳子・及川留美・粕谷亘正(編)『教育課程・保育の計画と評価 書いて学べる指導計画』萌文書林											
<b>履修上の注意等</b>		体調管理を徹底するとともに、事前訪問時の指導内容を理解した上で準備を整えて実習に臨むこと。 実習録・自己評価票等の書類提出期限を厳守すること。											
<b>実務経験との関連</b>		実務経験の有無	有	(吉田)幼児教育の現場での勤務経験を有する教員が実習期間中に巡回訪問指導を行う。									